

No. 69 >>> Contents

新研究所の発足に当たって

・・・・・・・・・・一般財団法人大日本蚕糸会 会頭 小林芳雄———— ①

蚕糸絹提携自立化支援事業が始まりました

・・・・・・・・・・一般財団法人大日本蚕糸会 業務部———— ③

●トピックス

新規養蚕参入者研修を受講して・・・・・・・・・・鶴岡市地域おこし協力隊 板垣沙織———— ⑤

丹後織物産地の若手事業者による新しいプロジェクト

「ひらく織実行委員会」について

・・・・・・・・・・ひらく織実行委員会 委員長 高岡 徹
京都府織物・機械金属振興センター 主任研究員 徳本幸祐———— ⑦

●研究・技術情報

雌だけの蚕品種「おりひめ」誕生 !!

ーレモン色のお姫様は、女子会開催中ー

・・・・・・・・・・一般財団法人大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所
主任研究員 竹村洋子
客員研究員 大沼昭夫———— ⑨

農業生物遺伝資源（カイコ）の現状と今後の展望

・・・・・・・・・・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構
遺伝資源センター 北杜研究調整監 小瀬川英一———— ⑬

●蚕糸・絹業団体情報

安曇野市天蚕振興会と天蚕飼育・・・・・・・・・・安曇野市天蚕振興会 会長 田口忠志———— ⑮

●イベント情報———— ⑰

●一般財団法人大日本蚕糸会から

2020 年度第 4 次分の純国産絹マーク使用許諾状況 ————— ⑲

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 ————— ⑳

活動日誌 ————— ㉔

●蚕糸絹関係博物館一覧————— ㉔

●蚕糸絹関係機関ホームページ一覧————— ㉔

●統計資料（統計資料の詳細は統計資料目次をご覧ください。）————— ㉔

新研究所の発足に当たって

一般財団法人大日本蚕糸会

会頭 小林芳雄

4月1日をもって新たに「蚕糸科学技術研究所」が発足いたしました。これまでの蚕糸科学研究所と蚕業技術研究所を統合し、養蚕から製糸までを一貫した研究対象とする総合的な研究機関を目指すものです。一昨年来、茨城県阿見町での研究棟の新築・改築などを進め、この度開所に至りました。この間、様々のご協力を頂いた関係の皆様には厚く御礼を申し上げます。

従来、阿見町に置かれた蚕業技術研究所では蚕品種の開発、養蚕技術の改良などを、東京都新宿区に置かれた蚕糸科学研究所では製糸技術の開発や絹加工技術の研究などをそれぞれ担ってきました。新研究所ではこれらの研究開発を一か所で総合的に取り

組むことになります。昨今の蚕糸・絹をめぐる課題の一つとして、絹製品に対する市場のニーズと蚕・生糸の持つ機能・特徴をいかに結び付けていけるかがポイントといわれております。研究現場においても、養蚕から製糸、加工・利用までの繋がりという意識を持って、こうした課題に応えていければと考えています。

これからは、養蚕、製糸技術の維持・継承や普及のために後継者・技術者を育成することも重要な課題です。新研究所は、蚕品種、桑栽培・養蚕、製糸・加工などに関する研究成果や技術動向を一か所で提示できる全国でも稀な施設になります。地方自治体や関係団体とも連携をとりながら、研



一般財団法人 大日本蚕糸会
蚕糸科学技術研究所

修の場の提供などにより研究所の機能を有効に活用していくことを予定しています。

国内の養蚕・製糸業の縮小や和装需要の減少が続く一方で、シルクの機能に対し新分野を含めた関心の高まりがみられ、遺伝子組み換えによる新たな機能を付与した生糸の生産開始などの動きがあります。大日本蚕糸会では、幅広い関係者が参画する「全国シルクビジネス協議会」を通じて、機能性を持つシルクの商品化、需要開拓な

どに取り組んでいます。また、シルクの大生産国である中国など諸外国との間で、蚕糸絹業界の動向の把握や交流などを進めていくことにしています。こうした活動に当たっても、新研究所の施設や研究成果などが大きな役割を担えるものと期待をしています。

緑豊かな阿見町に発足した新研究所へのご来訪をお待ちしております。

蚕糸絹提携自立化支援事業が始まりました

一般財団法人大日本蚕糸会

シルクレポート 1 月号でもお知らせしましたように大日本蚕糸会の新しい助成事業「蚕糸絹提携自立化支援事業」が始まりました。新しい事業に基く事業計画の提出期限は 4 月 20 日（但し、新規養蚕参入者研修事業、製糸業安定化事業、養蚕ヘルパー雇用支援事業は 6 月 10 日、また、国産生糸需要拡大対策事業、条件整備事業は 9 月 20 日）までとなっていますので、蚕糸・絹業提携グループの皆様をはじめ事業の申請を考えておられる皆様は提出期限に注意してください。

【蚕糸絹提携自立化支援事業】のポイント

蚕糸絹提携自立化支援事業の概要はシルクレポートの 1 月号に掲載していますので、ここでは新しい事業のポイントを 2 つご紹介させていただきます。

一つ目は、「国産生糸需要拡大対策事業」です。国内の養蚕業を維持していくためには、安定した需要が確保されていくことが不可欠です。このため、国産生糸の新規需要を開拓するための新商品の開発やマーケティング等に対して助成を行うこととしたところですが、この事業のポイントは販売を前提としていることです。

事業者の皆さんが、国産生糸を使って新たな事業展開を行うときに、その初期段階

を支援し、事業者の方が新規事業に取り組む際のリスクを軽減しようとするものですから、国産生糸を使った新たな事業にチャレンジしようと考えておられる事業者の皆さんは本会にご相談ください。

二つ目は、「蚕糸・絹業提携グループ支援事業」です。蚕糸会の財源も限られており、いつまでも繭代補填することは困難なことから、新しい対策では「蚕糸・絹業提携グループ」に対して川上と川下が真に一体となって、消費者が求める製品づくりを行い自立を目指して取り組む「準提携システム型」への移行を強く求めています。コロナの影響を考慮して 2 年間の経過措置を設けましたが、経過期間を待つことなく、すべての蚕糸・絹業提携グループが「準提携システム型」に移行することを期待しています。

最後に、蚕糸絹提携自立化支援事業では既存の「蚕糸・絹業提携グループ」以外の方々も取り組める事業を設け、事業対象を広げています。関心のある方は本会にお問い合わせください。

■ 問い合わせ先：

一般財団法人大日本蚕糸会 業務部
〒100-0006
千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階
TEL：03-3214-3500
FAX：03-3214-3511

国産生糸需要拡大対策事業の概要

対象となる取組

新たな需要拡大のために新商品開発や異分野へのシルクの活用等、新しいマーケットの開発に必要な取り組みに対し以下のような支援を行う。（複数年の事業展開、新製品の販売が可能）

例）新たな絹製品の製作 / 品質試験・証明 / マーケティング / 展示・販売会の

助成対象者

新しい蚕業技術等を利用した新商品開発を行う組織
（新蚕品種等の利用、新たな絹製品の開発・提案等絹需要拡大のアイテムの作出）

シルクに関連する新製品づくりを行う企業等
（衣料素材以外の分野におけるシルク活用製品等異分野への進出）

助成の要件

新規で継続的な需要が見込まれること
3か年程度の販売戦略の基本計画であること
国産の繭・生糸を利用すること

助成の内容

助成対象

マーケティング調査費 / 原材料費 / 検討会経費 / デザイン等含む製作費 /
ポスター・パンフ・動画等のPRのための作成費 / 展示販売会経費 等

補助率

1／2以内（助成総額の上限あり）

提携グループ支援事業 助成の仕組み

令和3～4年

現 在

繭品質格差があるグループには、繭代に応じて、100円、200円、300円の加算額がある。
大半は加算額100円。

加算額
100円

+

基本額
1,150円



補助単価
1,250円

令和5年以降

準提携システム型

基本合意アリ
繭品質格差アリ

販促強化費
200円

+

格差奨励金
200円

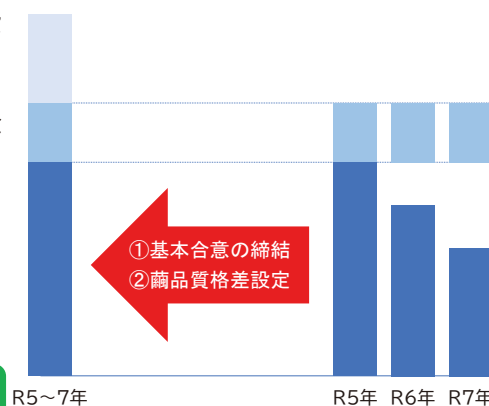
+

基本額
800円



補助単価
1,200円

システム志向型



①基本合意の締結
②繭品質格差設定

現在の提携グループは、「準提携システム型」か「システム志向型」のいずれかに仕分けされます。

新規養蚕参入者研修を受講して

鶴岡市地域おこし協力隊

板垣沙織

鶴岡市の養蚕プロジェクトについて

わたしは総務省の「地域おこし協力隊」という制度を利用して、2020年1月から鶴岡に移り住み、同市の養蚕プロジェクトに関わり始めました。鶴岡へ住む以前は、全くかけ離れた業界におり、人生で初めて蚕と対面した春蚕期は驚きの連続でした。

山形県鶴岡市では、2015年に養蚕農家の戸数が皆無になりましたが、2018年9月、鶴岡市と市民が一体となり新たな養蚕プロジェクトが始動しました。廃校舎や耕作放棄地といった、中山間地域の資源を活用した取り組みです。

養蚕プロジェクト始動以降、耕作放棄地への桑の苗木の植樹と管理、飼育頭数と飼育環境の試行錯誤を繰り返しています。

こうした背景から、地域で養蚕に関わる人びとを代表し、茨城県阿見町の蚕業技術研究所（現：蚕糸科学技術研究所）で「新規養蚕参入者研修」を受講しました。

養蚕に関する学び

今回の研修は10月1日から11月9日までの40日間で、「おりひめ」という品種



条桑刈り取り機による摘桑

の蚕を3万頭、「錦秋×鐘和」という品種の蚕を2,000頭飼育しました。

飼育に関する研修内容は、卵から孵化したての状態から、繭になるまでの工程すべてです。人工飼料と桑、両方の飼育方法を学びました。

すでに鶴岡で春蚕期、秋蚕期の飼育に関わっていましたが、上記の飼育はすべて桑によるものだったため、人工飼料を与える際の注意点、種類及びその選び方についてはとても勉強になりました。現在は一貫して桑での飼育を行っていますが、今後、人工飼料育を取り入れることになった際の選択の幅が広がったと感じます。

また、研究所では、飼育に関する道具や



収繭

環境づくりに利用されている資材の一部が、ホームセンターなどで購入できるものや手製できるものも多く、参考になりました。

今回の研修は、1 齢から 3 齢までの飼育を人工飼料、4 齢以降の飼育は桑で行いました。

鶴岡の養蚕プロジェクトが抱える課題のひとつに、桑園管理があります。飼育頭数を増やしていく計画があるため、桑の苗木を毎年植樹しているのですが、桑園が広がることに比例して、管理が行き届かなくなっています。というのも、養蚕プロジェクトの現場に関わっている人々の多くは、養蚕の経験を持っていないため、年間を通じた桑園管理の具体的な内容と、正しい施肥・除草のタイミングについての知見がないようです。

私が初めて養蚕に携わった春蚕期では、桑園の施肥・除草が後手に回り、想定より桑の収量が見込めない、桑の質が落ちるといったトラブルに見舞われました。

そして今回、研究所内の桑園を見学した際、桑の葉の良質さに驚きました。蚕の飼育も奥深いところがありますが、飼育と同様かそれ以上に、桑園管理も奥深いものだと感じました。

良い桑園は一朝一夕でできあがるものではありませんが、今回の研修で学んだ内容を地域の人々と共有し、時間をかけて良い桑園を作り上げていきたいと思います。

そのほか、蚕が食べ盛りの時期の摘桑の過酷さ、給桑のあわただしさ、上簇当日の目の回るような 1 日は、忘れたくとも忘れられません。しかし、上簇した蚕たちが作った繭を見ると、疲れが癒えるようでした。

適切な環境を整え、良質な桑をたくさん与えると、良質な繭ができる、という当たり前のことを再認識しました。

さいごに

人生でまたとない経験をさせていただいたと感じております。研修中大変お世話になりました、蚕業技術研究所並びに蚕糸科学研究所の皆さまへ、心よりお礼申し上げます。今回の経験を養蚕プロジェクトへ活かしていきたいと思います。

丹後織物産地の若手事業者による新しいプロジェクト 「ひらく織実行委員会」について

ひらく織実行委員会

委員長 高岡徹

京都府織物・機械金属振興センター

主任研究員 徳本幸紘

京都府北部の丹後地域にある与謝野町では、若手織物事業者が持続可能な産地を目指すプロジェクト「ひらく織実行委員会」を行っています。

このプロジェクトは、与謝野町の基幹産業である織物業における次世代の担い手を育成することを目的としており、平成27年度からスタートしました。30～40代の与謝野町内の織物事業者、丹後織物工業組合及び京都府織物・機械金属振興センターの技術職員、事務局として与謝野町役場や商工会の職員など計14名で構成されています。

産地の持つ技術や課題を「開き」、織物の価値と未来を「拓く」という思いを込め、「ひらく織 一産地交流から始める日本の繊維産業の強化」をコンセプトに、全国の繊維産地との交流や新商品開発に取り組んでいます。

全国の繊維産地との交流では、各産地を訪問して伝統文化や強み、技術を学び、またお互いが直面している課題を共有するこ

とで、産地を越えた連携や補完ができる関係性の構築や、協業できるパートナーの発掘を目指しています。令和元年度までに23産地を訪問し、99の事業者と交流を行ってきました。訪問産地の事業者から強い刺激を受け、メンバーにも次々と変化が見られるようになりました。例を挙げると、和装用の小幅織機しか設備がなかった機業のメンバーが、新商品の開発に向けて広幅織機を導入しました。また整経業のメンバーは、他産地からの整経も受注できるように広幅の整経機を導入し、全国的に不足しているとわかった化学繊維の整経に挑戦するなど、新たな取組に繋がっています。また、自社製品の染色等の加工を交流でつながった事業者に発注するなど、ビジネスとしての関係も芽生えています。

さらに「ひらく織実行委員会」を窓口とした他産地からの訪問が増えており、令和2年度までに泉州、久留米、富山、東京、群馬など5産地から織物関連事業者の訪問がありました。そのほかWebサイト「ひ

らく織」(yosano-branding.jp/opentextile/)を立ち上げ、丹後産地の情報や産地交流の様子をレポートとして発信しています。この結果、Web サイトを見た東京の服飾専門学校が与謝野町を訪れ、卒業後に町内に移住し織物事業所への就職に至りました。さらに、彼の移住をきっかけに友人も町内の織物事業所に就職しており、人が人を呼び込む好循環が生まれています。このWeb サイトが繊維産地やモノづくりに興味のある若者にとって入口となっており、産地に新たな風が吹き始めています。

新商品開発では、丹後織物産地の高い製織技術と産地交流で培った知識やネットワークを活かし、新しい分野への挑戦としてアウトドア手ぬぐいの開発に取り組みました。開発に当たっては、公設試験研究機関である京都府織物・機械金属振興センター

に集まり、織物の規格を検討し、また吸水性や乾燥性の評価試験を行いました。開発に着手してから約1年をかけて完成した手ぬぐいは、全国のアウトドアショップにて販売され、メンバー自身も店頭に立って販売し魅力を伝えました。メンバーの多くはB to Bの事業形態をとっており、自身が製造した素材に対する反応を消費者から受け取る初めての機会となりました。

この活動を通して、それぞれのメンバーで商品開発、設備投資、人材育成等の成果が少しずつ出始めています。今後も真の成果に結びつけられるように、この活動で得た経験や見識を日々の業務に生かし、丹後織物産地をさらに次の世代に繋いでいくために、これからも織物の可能性をひらき続けます。



アウトドア手ぬぐいの開発の様子



ひらく織実行委員会のメンバー

雌だけの蚕品種「おりひめ」誕生 !!

ーレモン色のお姫様は、女子会開催中ー

一般財団法人大日本蚕糸会

蚕糸科学技術研究所

主任研究員 竹村洋子

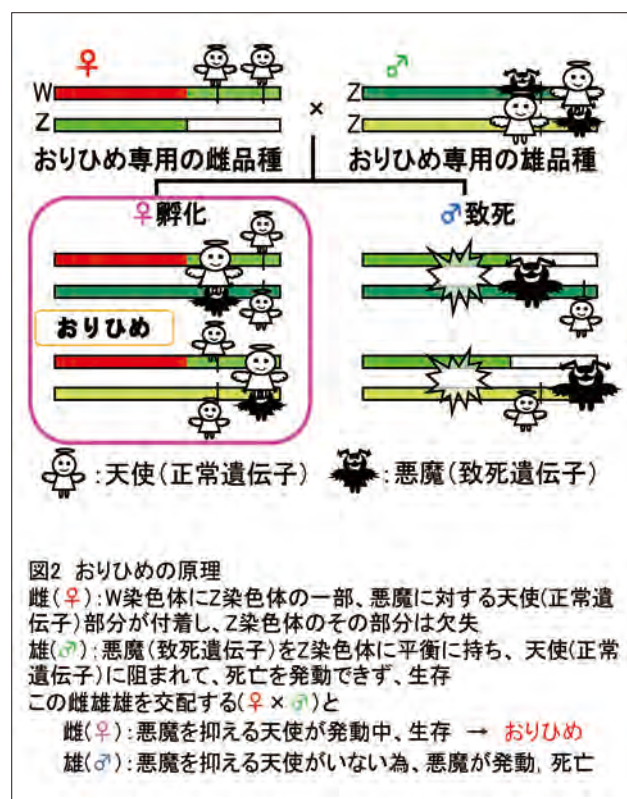
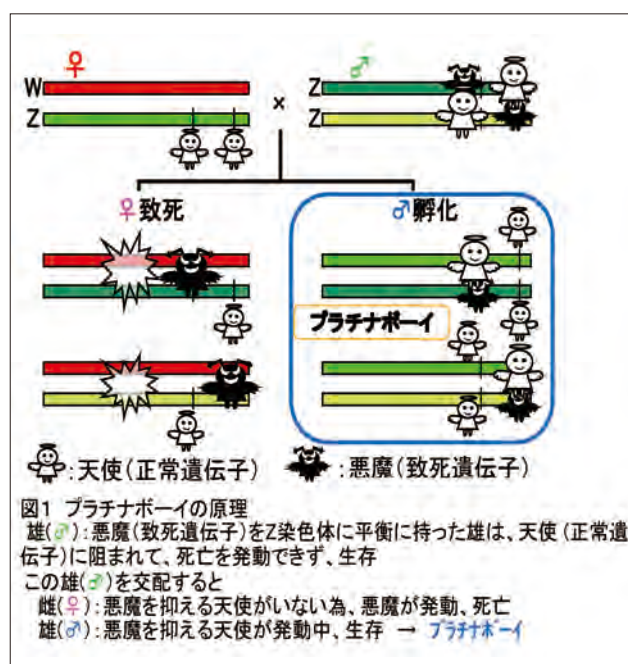
客員研究員 大沼昭夫

雄だけの蚕品種「プラチナボーイ」を開発し、その着物に高い評価をいただけるようになると、「雌だけの品種はないのですか?」と、よく聞かれるようになりました。「プラチナボーイ」は、繭質の優れた通常系統の雌と遺伝的に特別な平衡致死を持ち、繭質も優れた系統の雄を交配することにより、雌が孵化せず、雄だけが生まれる品種になりました(図1)。

「雌だけの品種」を作る場合は、どうしたらよいか。雄を孵化させない為に、平衡

致死を持つ雄系統の品種と、その致死を阻止できる染色体をもつ雌と、新しい致死遺伝子をもつ雄の品種を別々に作ることを筆者らの一人、大沼博士は考えつきました。

この考えに基づき、複雑な交配と調査、良質な繭質の為の育成を繰り返すことにより、雌だけの緑繭品種「おりひめ」を作り上げました(図2)。



雌の緑色繭は、セリシンのフラボノイド含有量が雄よりも多く、紫外線吸収作用も雄よりも倍近く強いことが明らかになっています。カイコの繭は、元来は薄黄色で突然変異により白色になり、現在に普及してきました。自然界では、卵を作る雌蛹をより多くのフラボノイドを持つ繭の中で紫外線や外敵から大事に守ってきたと思われます。実際、紫外線下の実験では、緑繭の方が白繭よりも蛹になる確率（蛹化率）がはるかに高いという報告があります。

このフラボノイドを含むセリシンは、抗酸化作用、保湿作用、美白作用が報告されており、化粧品分野での応用が期待されています。また、抗菌性機能も高く皮膚がんや大腸がん抑制作用、紫外線による皮膚障害への抑制作用など医薬品分野での利用も期待されます。

すでに、白繭から精製されたセリシントンパク質は、「ピュアセリシン」として製品化されています。また、緑繭品種「いろいろ」などでも化粧品に利用されていますが、今後、「おりひめ」の繭から抽出するフラ

ボノイドを含むセリシントンパク質の製品化などに新しい光がさすかもしれません。

「おりひめ」は、雌だけの特徴を生かすべく、より多くのフラボノイドを含む緑繭として誕生しました（図3）。緑繭といっても実際に見ると、レモン色に近く感じます。カイコの雌繭だけの特徴は、繭糸織度の変動幅と偏差が少なく、雄に比べると織度が太いためか、解舒が良いとも言われています。この生糸により織りムラが生じにくく良質で安定した絹織物が出来ます。

昔から「プラチナボーイ」のように雄だけを飼育する雄蚕（ゆうさん）飼育は、桑の利用効率や繭質も良いと言われてきました。しかし、これは、同品種の雌雄を比べた場合です。初めから雌だけの緑繭品種として育成した「おりひめ」は、他の品種と比べてみると、飼育経過が短く、蛹の体重が軽く、繭層歩合が良好です（表1）。一般的な緑繭品種の雌と比べても繭糸長が同等であり、解舒も良好で良質な生糸に仕上がりました。

実際、2020年の春蚕期に2軒の農家で飼育していただきました。「春嶺×鐘月」



図3 おりひめの性状

左：雌卵がふ化、半分の雄卵はふ化しない
中央：カイコは通常の交雑種とほぼ同じ（5齢壮蚕期）
右：フラボノイドが多く含まれる雌だけの緑繭

表1 交雑品種飼育試験

品 種 名	経過日数			収繭 量	繭重 繭重	繭層 重	繭層 歩合	繭糸 長	繭糸 量	繭糸 繊維度	解舒 率
	4齢	5齢	全齢								
	(日・時)	(日・時)	(日・時)	(Kg)	(g)	(cg)	(%)	(m)	(cg)	(d)	(%)
錦秋鐘和(雌雄混合)	4.17	6.07	21.06	18.2	1.83	43.6	24.1	1313	37.1	2.54	78.4
錦秋鐘和の♀					2.04	44.4	21.8				
錦秋鐘和の♂					1.63	42.9	26.4				
おりひめ(雌)	4.07	6.17	20.23	17.0	1.84	41.8	22.8	1254	34.7	2.49	88.9
緑繭2号の雌	5.00	7.00	21.23	18.5	1.93	41.8	21.7	1256	32.9	2.36	75.5
緑繭2号の雄	5.00	6.07	21.06	15.5	1.62	39.7	23.9	1245	29.7	2.15	78.4
プラチナボーイ(雄)	4.17	6.04	21.03	17.1	1.72	45.8	26.6	1476	38.6	2.35	93.0
各350頭飼育											

表2 農家での「おりひめ」の飼育成績

飼育時期	飼育 場所	掃立 数	上繭 収量	収繭量 (1万頭)
		(頭)	(Kg)	(Kg)
2018年晩秋	茨城	2万	27.5	13.8
2019年春	茨城	6万	86.8	14.5
2020年春	愛媛	3万	47.6	15.9
2020年春	愛媛	3万	45.5	15.2

よりも4～5日早く上簇してしまいましたが、30,000粒あたり約46.5kgの繭が収穫できました(表2)。

どんな品種でも初めて飼育すると、慣れない事が色々起こりますが、だんだん落ち着いてくると思います。農家にとっても飼育効率が良い「おりひめ」の繭を真綿にしていたところ、他の繭との違いがあ

り、繊維が強く(強い)、繊維がスツキリ(もやもやが無い)という評価をいただきました(図4)。現在、「おりひめ」による高級真綿布団を企業が作製しているそうです。真綿布団とは、シルクから作られた布団です。煮た繭を丁寧に手で綿状のシートのように引き延ばして、何枚も重ねて作ります。シルクの特徴である吸湿発散性、保湿性に



図4 おりひめの真綿

左：対照 中央：おりひめ
右：フラボノイドを再付着させたおりひめ

優れた肌に優しい布団で、フィット性に大変優れて、1枚は欲しい寝具です。

「おりひめ」は、生まれたばかりですが、雌だけの緑繭という大変特徴のある品種ですので、これから活用の幅を広げてもらえたらと期待しています。雄だけの品種、「プラチナボーイ」との共演・競演などの夢もふくらみます。

余談ですが、最近、奈良県東吉野村の「丹生（にう）川上神社」から水の神様である罔象女神（みづはのめのかみ）を分霊された「蚕豆（そらまめ）神社」が栃木県鹿沼市に建立されました（現在未公開）。もともと「そら豆」は、蚕を飼う初夏に食べ、さやの形が蚕に似ていることから「蚕豆」の字があてられたそうです。腎臓がそら豆の形に似ていることから腎臓病祈願を主とした神社名を「蚕豆神社」としたそうです。腎臓病の透析には良質な水が必要であるため、水の神様を祭っています。鎮座祭には、名前の「蚕」の縁での依頼があり、「女神」つながりで「おりひめ」の繭を奉納しました。宮司様にも「貴重なめずらしい繭をありがとうございます」と大変感謝されました。腎臓だけでなく繭にも良質な水が大切だと思う今日この頃です（図5）。



図5 奉納されたおりひめの繭
揮毫：柳田邦男

■ 問い合わせ先：

一般財団法人大日本蚕糸会
蚕糸科学技術研究所
〒300-0324
茨城県稲敷郡阿見町飯倉 1053 番地
TEL：029-889-1771
FAX：029-889-2356

農業生物遺伝資源（カイコ）の現状と今後の展望

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構

遺伝資源センター 北杜研究調整監 小瀬川英一

農業生物資源（カイコ）の拠点

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構は農業生物遺伝資源の一つとして、カイコ遺伝資源の保存を行っている。保存に関わる拠点は、山梨県北杜市と茨城県つくば市の2ヶ所に存在する。北杜市拠点では主に、在来種・改良種・突然変異種の保存を行っており、つくば市拠点では育種素材系統を中心に保存している。

カイコ遺伝資源の内容

保存品種の在来種は、明治・大正時代まで使われた純系品種のことである。特に小石丸は人気のある品種である（図1）。改良種は大正時代から昭和にかけての品種で、国が指定した一代雑種の親品種である。



図1 小石丸

一代雑種とは、血縁の遠い2品種を掛け合わせて子孫をとると、どちらの親よりも優秀な成績を示すという雑種強勢を利用した品種のことである。突然変異種は、長いカイコの研究の中で歴史的に利用されてきた種々の変異を示す遺伝子の保存を目的としている。育種素材は、在来種に比べて優秀な形質を持っており、改良種に含まれる性質のものであるが、まだ品種としての公認を受けていない品種予備群のことである。

カイコ遺伝資源の需要

カイコ遺伝資源の中で最も需要が多いのは在来品種であり、特に小石丸の需要は根強い。用途としては青少年の教育目的に使われる需要が最も多く、それに次いで、地域興しを企図する需要がある。また、品種を指定せず、古代絹を復元するのに適した品種の提供のニーズも少ないながら存在する。北杜市拠点の改良種は、昭和40年以前の品種がほとんどであり、現行の実用品種に比べれば劣るものが多く、ニーズは少ない。突然変異種は、基礎研究を行っている研究者からのニーズがあるが、九州大学

とコレクションの重複が多いので、農研機構からの配布は少ない。育種素材は能力が高い品種群であるが、元々農研機構が秘蔵してきたものであり、社会的認知が低いために、需要が生まれにくくなっている。今後の宣伝が必要である。

在来品種の重要性

農研機構ではこのように多数の品種を持っているが、他のカイコ品種保存機関と比べて特徴的なのは、在来種を多く持つことである（図2）。カイコの改良種は原理的には全て在来種から育成されたものであるもので、在来種さえ持っていれば、それから歴史的に派生したような改良種を再現することは可能であると考えている。在来種は原産国では失われた海外の品種も多く、農研機構のカイコ遺伝資源は、すなわち世界の縮図であると自負している。

今後収集が期待される遺伝資源

最近のカイコ品種育成は、遺伝子組換えやゲノム改変を用いた手法で行われるようになった。飼育に特別な許可や施設が必要な遺伝子組換え生物を、農業生物遺伝資源では組み込まないことになっているので、収集予定は無い。しかし最近利用され始めたゲノム改変技術を用いたカイコは遺伝子組換えカイコと規制が異なり、将来的に役割を終えた品種から収集対象になる可能性がある。



図2 多様な在来種

カイコ遺伝資源の配布

農研機構のカイコ遺伝資源を利用するには、農研機構のインターネットホームページから申し込むのが簡単である。URL は次の通りである。

[https://www.gene.affrc.go.jp/
distribution-animal.php](https://www.gene.affrc.go.jp/distribution-animal.php)

もしくは、下記の連絡先で申し込むことができる。

■ 問い合わせ先：

農研機構 遺伝資源センター

ジーンバンク事業推進室

〒 305-8602

茨城県つくば市観音台 2 丁目 1 番 2 号

E-mail: genebank@naro.affrc.go.jp

（配布申込専用）

TEL：029-838-7467

FAX：029-838-7054

安曇野市天蚕振興会と天蚕飼育

安曇野市天蚕振興会

会長 田口忠志

1. 天蚕飼育の経緯

天蚕は古くからヤマコなどと呼ばれ日本原産の野蚕（野生に生息する大型絹糸昆虫）です。天蚕の緑の糸は優美な光沢をもち、温かく軽い特徴から「繊維のダイヤモンド」と言われています。ほぼ全国の山野に生息が見られますが、気候風土やクヌギなどの雑木林が北アルプス山麓に広がる安曇野で江戸時代末期の天明年間（1781年～1788年）に本格的飼育が始められました。

明治政府の努力にもかかわらず天蚕飼育は全国的に広がらず安曇野地方だけの発展でした。明治20年～明治30年（1887年～1897年）代には、天蚕繭の生産は800万粒以上の全盛期を迎えました。

その後幾多の盛衰を繰り返しながら第二次世界大戦終結後は飼育や繰糸、機織りをする農家はほとんど廃業してしまいました。

戦後、長野県は昭和22年（1947年）有明天柞蚕試験場を開設。地元保存されてきた天蚕品種の維持と飼育方法の研究を続け、長野県下の市町村に天蚕種を配布して飼育技術の普及に勤め、戦後30年余り経過した昭和53年天蚕センターを建設しました。翌年、穂高町天蚕振興会（現安曇野市天蚕振興会）が組織され、天蚕復興の



写真1 安曇野市天蚕センター

ため天蚕飼育がスタートし40年以上が経過しています。

2. 安曇野市天蚕振興会の活動

安曇野市天蚕振興会は、天蚕の飼育、繰糸（足踏み式小柞繰糸法）、高機機織り技術を伝承し、発展普及させる目的で以下の活動をしています。

- ①天蚕飼育農家の育成
- ②天蚕繭からの絹糸や紬糸の生産、技術の改良
- ③機織機によるオール天蚕織、有明紬織の生産と機械織による天蚕織物の生産
- ④天蚕繭の高度利用（化粧品原料など）
- ⑤インバウンドによる天蚕の外国への発信
- ⑥安曇野市天蚕センターの管理運営と各種啓蒙活動
- ⑦機織教室の開講（後継者育成）

3. 振興会の新しい取り組み 天蚕の魅力を世界に向けて発信

世界の中で実用利用されている野蚕はインドのムガ蚕、エリ蚕や中国の柞蚕や日本の天蚕などがあります。



写真2 天蚕繭と穂高天蚕糸

明治2,3年、イギリス大使館のアダムス書記官が日本の蚕種や生糸の輸出の可能性を調査するため養蚕地帯の視察を行っています。明治政府の天蚕への大きな期待から飼育の中心地の古厩村（現安曇野市）も唯一訪れています。

安曇野市天蚕振興会では美しい緑色の糸、素晴らしい光沢を持つ天蚕の魅力を世界に発信しようと考えています。

天蚕センターに外国人観光客を呼び込むため、国のインバウンド補助金を活用して施設の整備を行っています。

①天蚕センター内の展示資料の説明タブレットやDVDの英語、中国語（繁体、簡体）の多言語対応

②外国人目線による動画コンテンツの作成
「安曇野天蚕糸の魅力」（仮称）を7言語（英語、中国簡体繁体、韓国語、フランス語、タイ語、ベトナム語）による観光コンテンツ動画を制作 Facebook や YouTube などの

SNS を使って安曇野天蚕を外国及び日本国内旅行サイトに発信していきます。

後継者の育成を進める

飼育ボランティアを募集して現在15名の方に天蚕飼育の補助をお願いしています。



写真3 後継者育成機織教室

後継者育成のため、2年制の機織教室を昨年開設し、現在5名の受講生が機織に励んでいます。今後、経過を見て安曇野市の協力を受けながら続けていく計画ですが、これの方が次世代の担い手として活動できる環境を整えることが急務と考えています。

4. おわりに

コロナ禍の中、現在外国人観光客はいませんが、今後センター内の展示資料を外国人に認知いただけるディスプレイや喜ばれる体験コンテンツ、新製品開発の準備を進めていく予定です。

■ 問い合わせ先：

安曇野市天蚕振興会 安曇野市天蚕センター
〒399-8301
長野県安曇野市穂高有明 3618-24
TEL：0263-83-3835
HP：azumino-tensan.jp

イベント情報

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各博物館では臨時閉館やイベントを中止している場合があります。詳細は各 WEB サイトなどでご確認ください。

●岡谷蚕糸博物館 収蔵品展

玉繭、そして。繭を活かす知恵と技術

2 頭のお蚕さまが 1 つの繭をつくる玉繭。人は糸繰りのしづらい玉繭を、ひきそろえられた生糸とは違う形態の価値あるものに生まれ変わらせてきました。それらを技術・道具・製品、人物など、さまざまな側面からご紹介します。人の手が生み出す知識と技術の結晶、その歴史をお楽しみください。

〈会期〉 4 月 22 日（木）～ 7 月 11 日（日） 9:00～17:00

休館日：水曜日・祝日の翌日

〈主催〉 岡谷蚕糸博物館 ―シルクファクトおかや―

〈会場〉 岡谷蚕糸博物館 〒394-0021 長野県岡谷市郷田 1-4-8

Tel: 0266-23-3489

<http://silkfact.jp/>

E-mail: hakubutsukan@city.okaya.lg.jp

●駒ヶ根シルクミュージアム 第 55 回特別展

「2021 まゆクラフト作品展」

駒ヶ根シルクミュージアムでは毎年、全国の皆様に向けて公募した繭クラフト作品の展示会を開催しています。今回は 14 回目です。当ミュージアムで開催する「まゆクラフト作品展」（公募）が、養蚕・繭作りの伝統・文化を伝承するとともに、新たな繭の文化を創造することに、少しでもお役に立てればと考えております。ご観覧くださった皆様の多くに、作り手のアイデア・センスに溢れた作品の素晴らしさを味わっていただき、その感動を共有していただきます。

〈会期〉 4 月 22 日（木）～ 5 月 25 日（火） 9:00～17:00

休館日：水曜日（5/5 は開館、5/6 休館）

〈主催〉 駒ヶ根シルクミュージアム

〈会場〉 駒ヶ根シルクミュージアム 〒399-4321 長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地

Tel: 0265-82-8381

<https://komagane-silk.com>

E-mail: shiruku@cek.ne.jp

●日本絹の里 企画展

「若槻せつ子コレクション 錦舞う打掛とキモノドレス」

ファッションディレクター・若槻せつ子さんのコレクションから、バブル期に作られ刺繍・織り・染色など匠の手仕事が凝縮された花嫁衣裳「打掛」の逸品と、若槻さん自身が打掛をリメイクした「キモノドレス」を紹介します。

〈会期〉4月10日（土）～5月10日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●日本絹の里 特別展

「友禅作家 永井與子～悠久の時を超えて～」

17世紀に京都で活躍した扇絵師である宮崎友禅斎を起源とする友禅。そして、京友禅の染技法を用いて江戸好みに染め上げたものが江戸友禅です。振袖や訪問着、祝い着、帯といった和装作品から、絵画、ランプなど手描き友禅を通じて静と動を表現します。

〈会期〉5月15日（土）～7月12日（月） 9:30～17:00

休館日：火曜日（祝日の場合は翌日）

〈主催〉群馬県立日本絹の里

〈会場〉群馬県立日本絹の里 〒370-3511 群馬県高崎市金古町 888-1

Tel: 027-360-6300

<https://www.nippon-kinunosato.or.jp>

●シルク博物館 所蔵品展

「描かれた養蚕 一蚕織錦絵の世界」

所蔵する錦絵から選りすぐり、約50点の作品を展示紹介します。養蚕が隆盛をきわめた往時の風俗や世相、時代の息吹などを感じ取っていただくとともに、多彩な蚕織錦絵の世界をお楽しみください。

〈会期〉前期：4月24日（土）～5月16日（日） 9:30～17:00

後期：5月18日（火）～6月6日（日） 一部展示替があります。

休館日：月曜日と5月6日（木） ＊5/3は開館

〈主催〉シルク博物館

〈会場〉シルク博物館 〒231-0023 横浜市中区山下町1番地 2階

Tel: 045-641-0841

<http://www.silkcenter-kbkk.jp/museum/>

2020 年度第 4 次分の純国産絹マーク使用許諾状況

純国産絹マークの 2020 年度第 4 次審査委員会を 2021 年 2 月 24 日(水)に開催しました。今回の申請は 4 者で、新規申請者 1 者 1 品目、使用許諾されている 3 者のうち製品の追加 1 者 1 品目、履歴の追加 1 者 1 品目、数量の追加 2 者 4 品目の申請がありました。これらの申請を審査委員会で審査した結果、4 者 7 品目に対し、3 月 3 日(水)付けで純国産絹マークを使用許諾する旨通知しました。

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(製品の追加) (株) とみひろ 代表者名：富田浩志 (担当者：富田和司) 〒 990-0031 山形県山形市十日町 4-1-3 TEL：023-635-1212 表示者登録番号 075	白生地	30 反	繭生産 (株) とみひろ (自社農場) 製 糸 松岡 (株) 製 織 田勇機業 (株)
(新規) (株) やしま 代表者名：中須賀賢一 (担当者：中須賀賢一) 〒 730-0042 広島県広島市中区国泰寺町 1-3-15 やしまビル TEL：082-543-2118 表示者登録番号 238	白生地 (表地) (紋意匠)	30 反	蚕品種 春嶺×鐘月、錦秋×鐘和 繭生産 JA おやま管内養蚕農家 製 糸 碓氷製糸 (株) 製 織 (株) アシヨネ 精 練 丹後織物工業組合
(履歴・数量の追加) (株) 伊と幸 代表者名：北川幸 (担当者：北川幸) 〒 604-8176 京都市中京区御池通室町東入竜池町 448-2 TEL：075-211-2361 表示者登録番号 035	(履歴の追加) 白生地 (帯地) (古代縮緬帯地)	250 本	蚕品種 松岡姫 繭生産 JA ふくしま未来・ 製 糸 JA 前橋市管内養蚕農家 製 織 松岡 (株)・碓氷製糸 (株) 奥田重之織物
	(数量の追加) 白生地 (表地) (色無地・喪服用 無地意匠)	21 反	蚕品種 松岡姫 繭生産 JA ふくしま未来 管内養蚕農家 製 糸 松岡 (株) 製 織 江口機業 (株)

純国産絹マーク使用許諾企業名 (表示責任者名)	表示対象 製品名	表示対象 数量	生産履歴の内容 (繭生産地・企業等)
(数量の追加) (株) 高島屋 代表者名：村田善郎 (担当者：大西隆寿) 〒 542-8510 大阪市中央区難波 5-1-5 TEL：06-6631-1101 表示者登録番号 030	後染反物（振袖） (5 枚朱子)	10 反	繭生産 JA 那須南管内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 （株）竹林 染色加工 （株）千總
	後染反物（振袖） (紋意匠)	3 反	
	後染反物（振袖） (5 枚朱子)	4 反	繭生産 JA 那須南管内養蚕農家 製 糸 松岡（株） 製 織 篠春織物（株） 染色加工 （株）千總

次回の純国産絹マーク審査会の予定は次のとおりです。
純国産絹マークの使用許諾を申請される方は、事務局との事前協議を経た上で、下記の提出締切日までに、純国産絹マーク使用許諾申請書を提出してください。

次回審査会 2021 年度第 1 次：2021 年 5 月 28 日（金）
純国産絹マーク使用許諾申請書の提出締切日：2021 年 4 月 23 日（金）

(連絡先)

〒 100-0006

東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

一般財団法人 大日本蚕糸会

担当：岡島、廣瀬、小林

TEL：03-3214-3500 FAX：03-3214-3511

E-mail：岡島：aokajima@silk.or.jp

廣瀬：hirose_takato@silk.or.jp

小林：kobaei@silk.or.jp

一般財団法人大日本蚕糸会から

純国産絹マーク使用許諾者及び絹製品名一覧 2021年3月3日(2020-第4次)現在

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
001	(株) 千總	京都市中京区	後染反物(振袖、訪問着、付下、色無地、色留袖、黒留袖、喪服)、胴裏
002	(株) 織匠田歌	京都市上京区	先染反物、後染帯地
004	(株) 丸上	東京都中央区	後染反物(色無地、小紋、付下、黒紋付)、後染帯地
005	(株) 坂本屋	茨城県土浦市	後染反物(色無地)、胴裏(灰汁浸け加工)
006	(有) 平原	福島県白河市	後染反物(色無地、黒紋付)
007	(株) 信盛堂	東京都清瀬市	後染反物(色無地、黒紋付)
008	(株) きものアイ	新潟県十日町市	後染反物(色無地)
009	(株) 上庵	岩手県北上市	後染反物(色無地、黒紋付)
010	(有) 樹 (いづき)	秋田県横手市	後染反物(色無地、黒紋付)
011	(株) 銀座もとじ	東京都中央区	後染反物(作家作品)、後染帯地、先染反物(大島紬、結城紬、御召、作家作品)、先染帯地(織九寸帯、織角帯、作家作品)、白生地、和装小物(帯締、羽織紐)、八掛、胴裏
012	河瀬満織物(株)	京都市上京区	先染帯地
013	(有) 織匠小平	京都市北区	先染帯地
015	(株) 結華	静岡県清水町	後染反物(色無地、黒紋付)
016	(有) 絹回廊	東京都中央区	後染反物(色無地)
018	(有) 大善屋呉服店	福島県会津若松市	後染反物(色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地(表地)
020	呉服のささき	山形県天童市	後染反物(色無地、黒紋付)
021	日本蚕糸絹業開発協同組合 (絹小沢(株))	群馬県高崎市	裏地(胴裏(ぐんま羽二重、ぐんまレピア、ぐんま 200、灰汁浸加工、トルマリン加工)、八掛、比翼地)、長襦袢地、後染反物(作家作品、紋付地)、白生地(世紀二一、上州絹星・ぐんま 200、新小石丸)、後染帯地((冬物・夏物):うるし糸が5%を超えるもの)、寝衣(うぶ着、おくるみ)、和装小物(裾紬)
022	宮階織物(株)	京都市上京区	先染反物、後染反物
023	21世紀の絹を考える会	京都府城陽市	後染反物(色無地、訪問着)、先染帯地(袋帯(草木染、唐織))
024	碓氷製糸農業協同組合	群馬県安中市	白生地、マフラー
025	丸幸織物(有)	京都府京丹後市	白生地
026	織匠万勝	京都市中京区	先染帯地(袋帯、名古屋帯)、先染反物(御召類)、後染反物(色無地)、先染帯地(袋帯:金銀糸が5%を超えるもの)
027	(有) 織道楽塩野屋	京都府亀岡市	洋装品(マフラー、シャツ、ニット(ウオーマー、腹巻、手袋、靴下))
028	(株) 丸万中尾	滋賀県長浜市	後染反物(江戸小紋、小紋、付下、友禅、色無地、訪問着、留袖、色留袖)、後染帯地、白生地(表地)
029	(株) むらかね	青森県八戸市	後染反物(色無地、黒紋付)
030	(株) 高島屋	大阪市中央区	後染反物(振袖、七五三着物、色無地、訪問着、黒留袖)、白生地(長襦袢地、胴裏)、ニット(靴下)、風呂敷

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
031	(株) さが美	神奈川県平塚市	後染反物 (黒紋付 (冬用・夏用)、色無地)
032	(有) まるけい	静岡県富士市	後染反物 (色無地、黒紋付)
033	(有) 特選呉服専門店後藤	青森県むつ市	後染反物 (色無地、黒紋付)
034	(株) 小いけ	山形県鶴岡市	後染反物 (色無地、黒紋付、小紋)
035	(株) 伊と幸	京都市中京区	後染反物 (色無地、訪問着)、白生地 (表地、胴裏、帯地)、白生地 (表地 (天蚕糸交織))、白生地 (帯地 (天蚕糸交織))、婦人用ブラックフォーマル地、長襦袢
036	(株) 四季のきものおおにし	東京都杉並区	後染反物 (色無地、黒紋付)、後染帯地、白生地 (表地)
037	(株) 和幸	埼玉県久喜市	後染反物 (色無地、黒紋付)
038	(株) 桝屋高尾	京都市北区	先染帯地 (袋帯)
039	(株) つるや	埼玉県川越市	後染反物 (色無地、黒紋付)、白生地 (表地)
040	(株) 越後屋	千葉県市川市	後染反物 (色無地、黒紋付)
041	(株) 小倉商店	茨城県結城市	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)、白生地 (結城紬)
042	柳 崇 (染織家 柳崇)	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
043	児玉京子 (染織家 児玉京子)	沖縄県竹富町	先染反物、先染帯地
044	草木染工房山村 山村多榮子	東京都八王子市	先染反物、先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超える)、先染服地、ストール
045	手織りよおん 長嶺亨子	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地、ストール
046	祝嶺染織研究所	沖縄県沖縄市	先染反物、先染帯地
047	(株) 龍工房	東京都中央区	帯締
048	からん工房 深石美穂	沖縄県石垣市	先染反物 (紋紬、緋)、先染帯地
049	たわた工房	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
050	山音 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地 (変三越、駒組))
051	やまと (株)	京都市下京区	後染反物
053	桜井 (株)	京都市北区	先染帯地
054	有栖川織物 (有)	京都市上京区	先染帯地
055	太田和 (株)	京都市中京区	先染反物 (結城紬)、先染帯地 (結城紬)
056	(株) 岩田	京都市中京区	先染帯地
057	(有) 神原呉服店	千葉県銚子市	後染反物 (色無地、黒紋付)
058	浅山織物 (株)	京都市北区	先染帯地
059	(株) やまと	東京都渋谷区	先染帯地、先染帯地 (金銀糸が5%を超えるもの)、白生地 (加賀友禅用)、先染着尺 (加賀友禅用)、和装小物 (帯揚げ)
060	田中種 (株)	大阪市中央区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、黒紋付、加賀友禅、色無地、すかし織着尺)、後染帯地 (九寸名古屋帯)、ニット (靴下、ネック&ボディ、ショルダー、アーム、タンクトップ、腹巻、手袋、ピロケース、肌襦袢、ネックウォーマー)、真綿布団、ハーフケット、布団カバー
061	(株) 京扇	東京都中央区	後染反物 (色無地)、胴裏 (パールトーン加工)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
062	(株) なごみや	横浜市都筑区	後染反物 (色無地、黒紋付)
063	丸池藤井 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)、八掛
064	久保商事 (株)	京都市中京区	和装小物 (帯揚げ、半衿)
065	加賀グンゼ (株)	石川県小松市	胴裏
066	千切屋 (株)	京都市中京区	後染反物 (訪問着、付下)、後染帯地
067	荒川 (株)	京都市下京区	和装小物 (帯締、帯揚げ)
069	(株) 紅輪 ((株) 紅輪 まるやま・京彩 グループ)	川崎市宮前区	後染反物 (色無地)、白生地 (表地 (紋意匠))
070	装いの道 (株)	東京都千代田区	白生地 (帯地、表地)、胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工、ぐんま 200、新小石丸)
071	(株) 高橋屋	岩手県一関市	胴裏 (灰汁浸加工)
072	おお又 (株)	大阪市旭区	胴裏 (灰汁浸加工)、ニット (靴下)
073	(株) 天野屋呉服店	栃木県小山市	胴裏 (ぐんま 200 (灰汁浸加工))、白生地 (表地)
074	(株) きもの潮見	愛媛県西条市	胴裏 (パールトーン加工)
075	(株) とみひろ	山形県山形市	胴裏 (酵素精練)、白生地
076	(株) 細安	福井県福井市	胴裏 (酵素精練)
077	京和きもの (株)	神奈川県厚木市	胴裏 (酵素精練)
078	(株) まるため	長野県長野市	胴裏 (トルマリン加工、パーリー加工)
079	(株) 小川屋	群馬県前橋市	胴裏 (トルマリン加工、灰汁浸加工)
080	(株) エムラ	山口県防府市	胴裏 (酵素精練)
081	(株) 荒井呉服店	東京都八王子市	胴裏 (酵素精練)
082	(株) 牛島屋	富山県富山市	胴裏 (酵素精練)、後染反物 (小紋)
083	(株) 谷呉服店	福岡県筑紫野市	胴裏 (酵素精練)
084	(株) 登美屋	岩手県北上市	胴裏 (パールトーン加工)
085	(株) 川平屋	愛知県豊田市	胴裏 (パールトーン加工)、後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
087	(株) 大丸松坂屋百貨店	東京都江東区	裏地 (胴裏、比翼地 (振袖用))、長襦袢地
088	西陣織工業組合	京都市上京区	マフラー、セーター、カーディガン、ショール、ネクタイ
089	(株) あきやま	宮崎県綾町	先染反物、洋装品 (ショール、マフラー)
090	藤井紋 (株)	京都市中京区	後染反物 (色無地)
092	(有) 結城屋	兵庫県洲本市	白生地 (表地)
093	(株) ウメショウ	岐阜県瑞穂市	白生地 (表地)
095	(有) カシワギ	山梨県富士吉田市	寝具寝装品 (冬用・夏用・合用薄絹ふとん、ブランケット)、洋装品 (スーツ地、ネクタイ、服飾品 (スカーフ、ストール、シャツ))
097	(株) 平田組紐	東京都豊島区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)、羽織紐 (男物、女物)
098	(株) 菱健	京都市中京区	後染反物 (色無地)
099	西野 (株)	京都市上京区	帯締、帯締 (金銀糸が 5% を超えるもの)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
101	(株) 猪井	新潟県長岡市	後染反物（色無地）、後染帯地
102	(株) たちばな	新潟県新発田市	後染反物（色無地）、後染帯地
103	(株) 丸富美	新潟県十日町市	後染反物（色無地）
104	(有) 絹もの屋まつなが	新潟県三条市	後染反物（色無地）
105	(株) 山正山崎	愛知県豊橋市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
106	(有) こくぶん呉服店	福島県福島市	後染反物（色無地）
107	(株) 染織近藤	岡山市北区	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
108	(株) 宮川呉服店	北海道湧別町	後染反物（色無地、付下）
109	(株) 和らいふ	札幌市中央区	後染反物（色無地）
110	(有) きものいなもと	大阪市天王寺区	後染反物（色無地）
111	(株) 世さね	東京都中央区	後染反物
112	(株) 西陣まいづる	京都市上京区	先染帯地（袋帯（金銀糸が5%を超えるもの）、九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの）、紹九寸帯（金銀糸が5%を超えるもの））
113	奥順 (株)	茨城県結城市	先染反物（結城紬）、先染帯地（結城紬）
114	りょうぜん天蚕の会	福島県伊達市	ショール（天蚕紬糸、天蚕ハイブリッド）
115	(有) 金屋	新潟県上越市	後染反物（色無地）
116	(株) 鶴屋百貨店	熊本市中央区	胴裏（酵素精練）、先染反物（結城紬）
117	黄八丈めゆ工房	東京都八丈島	先染反物（黄八丈）
118	京屋呉服店	長野県塩尻市	後染反物（色無地）
119	(資) 車屋呉服店	横浜市南区	後染反物（色無地、江戸小紋）、白生地（表地）
120	宮崎 (株)	茨城県結城市	先染反物（結城紬）
121	(有) 内海呉服店 きもの千歳屋	東京都世田谷区	白生地（表地（色無地、訪問着））
122	長島繊維 (株)	栃木県足利市	後染反物（色無地、小紋、付下、訪問着）、後染帯地
123	(株) しょう美	広島市西区	後染反物（色無地）
124	(資) 治田呉服店	群馬県富岡市	後染反物（色無地）
125	(株) 丸十	大阪府東大阪市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
126	(株) 竹田嘉兵衛商店	名古屋市緑区	胴裏（酵素精練）
127	(有) 樋口屋京染店	埼玉県鴻巣市	白生地（表地用（紋意匠））
128	大門屋	福井県大野市	白生地（牛首紬）、後染帯地（牛首紬）、ショール（牛首紬）、先染反物（飯田紬）、白生地着尺（信州紬）
129	(株) 加藤萬	東京都中央区	和装小物（帯揚げ、半衿）
130	(株) しゃらく	愛媛県新居浜市	後染反物（小紋）
131	(資) 山中商店	名古屋市中区	後染反物（小紋）
132	きもの処あだち	大阪府藤井寺市	後染反物（小紋）
133	西川産業 (株)	東京都中央区	寝具寝装品（掛布団）
134	繭工房華美	宮城県塩竈市	寝衣（長肌着、短肌着）
136	(株) 和想	鳥取県鳥取市	後染反物（小紋）
137	(株) 高島屋呉服店	島根県益田市	後染反物（小紋）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
138	富岡シルクブランド協議会	群馬県富岡市	ネクタイ、褌、マフラー（手織り）
139	(株) 丸年呉服店	石川県金沢市	後染反物（小紋）
140	(株) 染織館	徳島県徳島市	後染反物（小紋）
141	(株) 京ろまん	奈良県奈良市	後染反物（小紋）、ニット（靴下）
142	五嶋（株）	東京都文京区	帯締
143	(株) わふくや	浜松市中区	長襦袢地
144	(株) 布屋呉服店	静岡県富士宮市	胴裏（トルマリン加工）、後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
145	(有) 明石屋	東京都調布市	後染反物（色無地）、後染帯地
146	宮井（株）	京都市下京区	風呂敷
147	(株) ナカノ	大分県大分市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠）、加賀友禅）
148	(株) 芦田呉服店	京都府綾部市	後染反物（色無地、小紋（変一越、紋意匠））
149	(株) 甲斐絹座	山梨県富士吉田市	ネクタイ、服飾品（スカーフ、ストール、トランクス）、パジャマ、袱紗
151	(株) 西松屋	兵庫県姫路市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
152	(株) 西尾呉服店	大阪市福島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
153	勝山織物（株）	京都市北区	先染帯地（金銀糸が5%を超えるもの）
154	(有) 石川	群馬県みどり市	後染反物（型友禅、羽二重色無地）、先染反物（ジャガード織）
156	那覇伝統織物事業協同組合	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地、かりゆしウェア、ショール
157	(株) ふじや	福岡県朝倉市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
158	きものおかだ	兵庫県香美町	後染反物（小紋）
159	(株) J S	山梨県富士吉田市	寝具寝装品（ふとん、ふとんカバー）、洋装品（スーツ地、コート地、スカート地、シャツ、ワンピース地）、服飾品（スカーフ、ストール、ネックカバー、アームカバー、レッグカバー）
160	(株) マルシバ	東京都中央区	裏地（胴裏）、和装小物（袱紗）、ネクタイ、帯地（白塩瀬）
161	(株) みつわ	大阪府大東市	後染反物（小紋）
162	福純織物（株）	福岡市西区	先染帯地（本袋男帯、八寸名古屋帯）
163	(株) 大谷屋	新潟市中央区	白生地（表地）
164	(株) 東京藤屋 (きものレディ着付け学院)	東京都品川区	白生地（表地）
166	近江真綿振興会	滋賀県米原市	寝具寝装品（布団、膝かけ）、ショール
167	(株) にしむら	兵庫県西脇市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
168	(有) きものおおにし	大阪府東大阪市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
169	(株) コノエ (そめの近江)	東京都豊島区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））、ニット（靴下）
170	(株) つたや	大阪府枚方市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
171	(株) 京呉服小糸伸輔の店	熊本市東区	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
172	(株) マエノ	茨城県石岡市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
173	(株) 本きもの松葉	大阪府富田林市	後染反物（小紋（変一越、紋意匠））
174	(有) 山田呉服店	長野県諏訪市	白生地（変り縮緬）、先染反物（大島紬）

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
175	(株) 呉服のながいけ	長崎県南島原市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
176	(株) 京呉服平田	福井県福井市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
177	(株) 布四季庵ヨネオリ	山形県米沢市	先染反物 (置賜紬)、ストール
178	奄美島絹推進協議会	鹿児島県龍郷町	先染反物 (大島紬)、先染帯地 (大島紬)
179	(株) 宮坂製糸所	長野県岡谷市	先染帯地 (八寸名古屋帯)
180	(有) シンセイ	長野県松本市	ニット (腹巻、靴下)
181	(株) 百花	横浜市中区	後染反物 (小紋 (変一越))
182	京呉服好一 (株)	京都市北区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
183	(株) パールトーン	京都市右京区	胴裏 (パールトーン加工)
184	きもの専科まさ井	兵庫県三木市	後染反物 (小紋 (変一越))
185	マテリアル ロープ 磨	東京都練馬区	後染反物 (小紋 (変一越))
186	(株) せんば呉服	兵庫県尼崎市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠)、訪問着)、先染反物 (絰着尺)、後染帯地
187	(株) 三越伊勢丹	東京都新宿区	白生地 (表地)、帯締、羽織紐、帯締 (金銀糸が5%を超えるもの)、ジャケット地
188	青山きもの (株) (青山きもの学院)	東京都港区	白生地 (表地、夏物表地)
189	ニット青木 (株)	東京都品川区	ニット (スーツ・パンツ、スーツ・スカート、ジャケット、アンサンブル、インナー)
190	渡豊工房	山形県山辺町	先染反物 (綾御召 (男物、女物)、市松綾御召 (草木染め)、もじり織 (草木染)、もじり織)、裏地 (紬八掛、駒八掛)、先染ストール (綾織草木染、もじり織草木染)
191	(株) リンクピース	福岡市博多区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
192	(有) 新宮 (きもの宮下)	宮崎県宮崎市	後染反物 (小紋 (変一越))
193	アトリエ I T O 伊藤峯子	沖縄県那覇市	先染反物、先染帯地
194	遊生染織工房 築城則子	北九州市八幡東区	先染反物
195	杉浦晶子	愛知県高浜市	先染反物、先染帯地
196	(株) 夢工芸染の新井	東京都足立区	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
197	(株) 嗟が野	埼玉県川越市	白生地 (変り縮緬)、先染反物 (大島紬)
198	(株) カインドウェア	東京都千代田区	ストール、ネクタイ
199	(株) 新田	山形県米沢市	後染反物 (ぼかし着尺)
200	(株) ソーホー	京都市下京区	白生地 (紋意匠無地縮緬・紋意匠縮緬)、後染反物 (本加賀訪問着)、先染反物 (大島紬)、先染帯地 (袋帯)、先染反物 (御召)
201	(株) すずのき	東京都品川区	後染反物 (訪問着・色無地)、白生地 (表地)
202	メーカーズシャツ鎌倉 (株)	神奈川県鎌倉市	ニット (肌着)
203	(株) 丸本岩崎	北海道函館市	裏地 (胴裏絹)
204	(株) 緒方商店 (きもの心おがた)	愛媛県八幡浜市	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
205	富士新幸 (株)	山梨県都留市	真綿布団
206	(有) 浅井ローケツ	京都市右京区	後染反物 (色無地・藍染)

表示者 登録番号	企 業 名	所 在 地	主 な 絹 製 品 名
207	(有) 呉服のうめね	北九州市小倉北区	白生地 (変一越)
208	(株) ADESSO (きもの工房一休)	神戸市中央区	白生地 (変一越)
209	森秀織物 (株)	群馬県桐生市	先染反物 (御召)
210	(株) 龍村美術織物	京都市中京区	先染帯地 (本袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
211	(株) 長沼 (長沼静きもの学院)	東京都渋谷区	後染反物 (小紋 (変一越、紋意匠))
212	(株) 国際商事	東京都板橋区	ショール
213	窪田織物 (株)	鹿児島県鹿児島市	先染反物 (大島紬、本場大島紬 12 マルキ)
214	村江菊絵 (菊江) (村江菊絵)	東京都目黒区	先染帯地、先染反物
215	片倉工業 (株)	東京都中央区	ニット (靴下)
216	村田捺染加工 (有)	群馬県桐生市	ストール
217	(株) 京のきもの綾錦	京都市下京区	後染反物 (訪問着、小紋、色無地)
218	あや工房	沖縄県西原町	先染反物 (首里織)、先染帯地 (首里織)
220	万兵 (株)	名古屋市中区	白生地 (表地)
221	横山 (株)	京都市中京区	後染反物 (小紋・訪問着)
222	(株) カネヒサクリエーション	石川県金沢市	白生地 (表地)
223	柳晋哉	東京都世田谷区	先染反物、先染帯地
224	(株) 一声	京都市下京区	白生地 (表地)
225	(株) ヤマノホールディングス きもの事業本部	東京都渋谷区	後染反物 (小紋・訪問着)、白生地 (帯地)
226	山口美術織物 (株)	京都市山科区	白生地 (表地・羽二重)
227	(株) 大醐	名古屋市中区	セリシン靴下、セリシン手袋
228	(株) 中忠商店	京都市上京区	セリシン靴下、セリシン手袋
229	(株) 帛撰	京都市北区	先染帯地 (名古屋帯、袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
230	(株) 京朋	京都市中京区	白生地 (表地)
231	(有) 綵巧	京都市北区	先染反物 (御召)、先染帯地 (名古屋帯 (組帯))
232	ウライ (株)	京都市下京区	後染反物 (小紋)、後染帯地 (袋帯 (表地のみ))
233	大橋メリヤス	群馬県桐生市	ニットストール
234	宮田織物 (株)	京都市北区	先染帯地 (袋帯 (金銀糸が5%を超えるもの))
235	(有) 中彦	京都市上京区	先染反物 (御袷袷 (五条袷袷))
236	大月俊幸	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)
237	久保原由佳理	長野県安曇野市	先染帯地 (名古屋帯)、先染着尺 (信州紬)
238	(株) やしま	広島県広島市	白生地 (表地) (紋意匠)

一般財団法人大日本蚕糸会活動日誌 No. 69 (R3.1.1 ~ R3.3.31)

新型コロナウイルスの影響のため、1月8日～3月21日（1都3県）まで緊急事態宣言が発出された。

月日	活 動 内 容 等
2 / 4	令和2年度全国シルクビジネス協議会幹事会（WEB会議）
2 / 9	若手農家との意見交換会（WEB会議）
3 / 24	大日本蚕糸会通常理事会及び臨時評議員会
3 / 26	大日本蚕糸会 新研究所：蚕糸科学技術研究所開所式

蚕糸絹関係博物館一覧

名 称	〒	住 所	電 話
一般財団法人北海道開拓の村	004-0006	北海道札幌市厚別区厚別町小野幌 50-1	011-898-2692
ひころの里「シルク館」	986-0782	宮城県本吉郡南三陸町入谷字桜沢 442	0226-46-4310
原始布・古代織参考館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 16	0238-22-8141
米沢織物歴史資料館	992-0039	山形県米沢市門東町 1 丁目 1 - 87	0238-23-3525
夕鶴の里資料館 語り部の館	992-0474	山形県南陽市漆山 2025 - 2	0238-47-5800
松ヶ岡開墾記念館	997-0152	山形県鶴岡市羽黒町松ヶ岡 29	0235-62-3985
公益財団法人致道（ちどう）博物館	997-0036	山形県鶴岡市家中新町 10 - 18	0235-22-1199
酒田市美術館	998-0055	山形県酒田市飯森山三丁目 17 - 95	0234-31-0095
かわまたおりもの展示館	960-1406	福島県伊達郡川俣町大字鶴沢字東 13 - 1	024-565-4889
結城市伝統工芸館	307-0001	茨城県結城市大字結城 3018 - 1	0296-32-7949
紬の里	307-0001	茨城県結城市結城 2515	0296-32-8002
本場結城紬郷土館	307-0000	茨城県結城市浦町 116	0296-32-2121
本場結城紬染織資料館「手緒里」	307-0001	茨城県結城市結城 12-2	0296-33-3111
佐野市郷土博物館	327-0003	栃木県佐野市大橋町 2047	0283-22-5111
おやま本場結城紬クラフト館	323-0023	栃木県小山市中央町 3-7-1 ロブレビル 1F	0285-32-6477
足利織物伝承館	326-0814	栃木県足利市通 3-2589	0284-22-3004
足利まちなか遊学館	326-0814	栃木県足利市通 1-2673-1	0284-41-8201
足利織姫神社	326-0817	栃木県足利市西宮町 3889	0284-22-0313
那須野が原博物館	329-2752	栃木県那須塩原市三島 5 - 1	0287-36-0949
高崎市歴史民俗資料館	370-0027	群馬県高崎市上滝町 1058	027-352-1261
群馬県立歴史博物館	370-1293	群馬県高崎市綿貫 992 - 1（群馬の森公園内）	027-346-5522
おかいてステーション	370-3401	群馬県高崎市倉渕町権田 5344 - 1235	027-340-6060
群馬県立日本絹の里	370-3511	群馬県高崎市金古町 888 番地の 1	027-360-6300
富岡製糸場	370-2316	群馬県富岡市富岡 1 - 1	0274-64-0005
群馬県立世界遺産センター	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450 - 1	0274-67-7821
前橋市蚕糸記念館	371-0036	群馬県前橋市敷島町 262 番地（敷島公園バラ園内）	027-231-9875
織物参考館 “紫（ゆかり）”	376-0034	群馬県桐生市東 4 丁目 2 番 24 号	0277-45-3111
桐生織物記念館（桐生織物協同組合）	376-0044	群馬県桐生市永楽町 6 - 6	0277-43-2510
コノドント館みどり市大間々博物館	376-0101	群馬県みどり市大間々町大間々 1030	0277-73-4123
たくみの里	379-1418	群馬県利根郡みなかみ町須川 784	0278-64-2211
群馬県立世界遺産センター（セカイト）	370-2316	群馬県富岡市富岡 1450-1	0274-67-7821
片倉シルク記念館	360-0815	埼玉県熊谷市本石 2 丁目 135 番地	048-522-4316
ちちぶ銘仙館	368-0032	埼玉県秩父市熊木町 28-1	0494-21-2112
秩父ふるさと館	368-0044	埼玉県秩父市本町 3-1	0494-23-7300
きもの芸術館（一般財団法人国際文化きもの学会）	150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-6-8 清水学園ビル 6F ～ 8F	03-3400-0286
文化学園服飾博物館	151-8529	東京都渋谷区代々木 3 - 22 - 7	03-3299-2387
調布市郷土博物館	182-0026	東京都調布市小島町 3 - 26 - 2	0424-81-7656
東京農工大学科学博物館	184-8588	東京都小金井市中町 2 - 24 - 16	042-388-7163
絹の道資料館	192-0375	東京都八王子市鎌水 989 - 2	0426-76-4064

名 称	〒	住 所	電 話
八王子市郷土資料館	192-0902	東京都八王子市上野町 33	042-622-8939
町田市立博物館	194-0032	東京都町田市本町田 3562	042-726-7531
羽村市郷土博物館	205-0012	東京都羽村市羽 741	042-558-2561
シルク博物館	231-0023	横浜市中区山下町 1 番地シルクセンター内	045-641-0841
神奈川県立歴史博物館	231-0006	横浜市中区南仲通 5-60	045-201-0926
相模田名民家資料館	229-1124	相模原市田名 4853 番 2 (大杉公園隣り)	042-761-7118
小千谷織物工房 小千谷織物同業協同組合	947-0028	新潟県小千谷市城内 1-8-25 小千谷市総合産業会館サンプラザ内	0258-83-2329
手織りの館	947-0028	新潟県小千谷市城内 1 - 8 - 25	0258-83-4800
十日町市博物館	948-0072	新潟県十日町市西本町 1	0257-57-5531
塩沢つむぎ記念館 (織の文化館)	949-6408	新潟県南魚沼市塩沢 1227 - 14	0257-82-4888
白山工房 (織りの資料館)	920-2501	石川県白山市白峰村ヌ 17	076-259-2859
はたや記念館ゆめおーれ勝山	911-0802	福井県勝山市昭和町 1 - 7 - 40	0779-87-1200
豊富郷土資料館	400-1513	山梨県中央市大鳥居 1619 - 1	055-269-3399
須坂市立博物館	382-0028	長野県須坂市臥竜 2 丁目 4 番 1 号臥竜公園内	026-245-0407
常田館 (絹の資料館)	386-0018	長野県上田市常田 1 - 10 - 3 笠原工業 (株) 内	0268-22-1230
繊維学部資料館	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学繊維学部内	0268-21-5454
上田市立博物館	386-0026	長野県上田市二の丸 3 番 3 号 (上田城跡公園内)	0268-22-1274
上田市丸子郷土博物館	386-0413	長野県上田市東内 2564 - 1	0268-42-2158
絹糸紡績資料館	386-0498	長野県上田市上丸子 1078 シナノケンシ (株) 内	0268-41-1800
長野県立歴史館	387-0007	長野県千曲市大字屋代字清水、科野の里歴史公園内	026-274-2000
海野宿歴史民俗資料館	389-0518	長野県東御市本海野 1098	0268-64-1000
日本司法博物館 (松本歴史の里)	390-0852	長野県松本市島立小柴 2196 - 1	0263-47-4515
岡谷蚕糸博物館 (シルクファクトおかや)	394-0021	長野県岡谷市郷田 1 丁目 4 番 8 号	0266-23-3489
駒ヶ根シルクミュージアム	399-4321	長野県駒ヶ根市東伊那 482 番地	0265-82-8381
安曇野市天蚕センター	399-8301	長野県安曇野市穂高有明 3618 - 24	0263-83-3835
美濃加茂市民ミュージアム	505-0004	岐阜県美濃加茂市蜂屋町上蜂屋 3299 - 1	0574-28-1110
石川繊維資料館	400-0886	愛知県豊橋市東小田原町 109 - 1	0532-52-5265
豊田市稲武郷土資料館ちゅーま	441-2524	愛知県豊田市黒田町南水別 713	0565-82-3439
豊橋市民俗資料収蔵室	440-0021	愛知県豊橋市多米町滝の谷 34-1-1	0532-63-2026
三重中央農協郷土資料館	515-2504	三重県津市一志町高野 1204 - 1	059-293-0010
手おりの里、金剛苑	529-1204	滋賀県愛知郡愛荘町蚊野外 514	0749-37-4131
織物文化館	601-1123	京都市左京区静市市原町 265 川島織物セルコン内	075-741-4120
西陣織会館	602-8216	京都市上京区堀川通り今出川南入	075-451-9231
(公財) 手織技術振興財団・織成館	602-8482	京都市上京区浄福寺通上立売上る大黒町 693 番地	075-431-0020
千總ギャラリー	604-8166	京都市中京区御倉町 80 番地千總本社ビル 2 階	075-211-2531
絹の白生地資料館	604-8176	京都市中京区龍池町 448 - 2 伊と幸ビル	075-254-5884
まゆ村	616-8384	京都市右京区嵯峨天龍寺造路町	075-882-0564
グンゼ博物苑	623-0011	京都府綾部市青野町 グンゼ (株) 周辺敷地内	0773-43-1050

名 称	〒	住 所	電 話
織元田勇	629-3104	京都府京丹後市網野町浅茂川 112 田勇機業（株）内	0772-72-0307
上垣守国（うえがきもりくに）養蚕記念館	667-0321	兵庫県養父市大屋町蔵垣 246 - 2	079-669-1580
デザイン・クリエイティブセンター神戸 (KIITO)	651-0082	神戸市中央区小野浜町 1-4	078-325-2201
西予市野村シルク博物館	797-1212	愛媛県西予市野村町野村 8 号 177 番地 1	0894-72-3710
蚕糸資料館	781-1301	高知県高岡郡越知町越知甲 1577 番地	0889-26-1002
藤村製絲記念館	781-6402	高知県安芸郡奈半利町乙 2630	0887-38-4711
美馬蚕糸会館	771-2107	徳島県美馬市美馬町谷口 5-1	0883-63-2502

蚕糸絹関係機関ホームページ一覧

【行 政】

農林水産省
経済産業省

<http://www.maff.go.jp>
<http://www.meti.go.jp>

【蚕糸絹業関係団体】

(一財) 大日本蚕糸会
(一財) 大日本蚕糸会 ジャパンシルクセンター
(一社) 日本絹人繊維物工業会
(一財) 日本真綿協会
丹後織物工業組合
西陣織工業組合
T A F S (東京織物卸商業組合)
K O M S (京都織物卸商業組合)
(公財) 京都和装産業振興財団
(一財) 伝統的工芸品産業振興協会
蚕糸・絹業提携グループ全国連絡協議会

<http://www.silk.or.jp>
<http://www.silk-center.or.jp>
<http://www.kinujinsen.com>
<http://www.mawata.or.jp>
<http://www.tanko.or.jp>
<http://www.nishijin.or.jp>
<http://www.tafs.or.jp>
<http://www.fashion-kyoto.or.jp>
<http://www.wasou.or.jp/wasou/index.html>
<http://www.kougeihin.jp>
<http://takaraginu.com>

【大学・試験研究機関】

(国研) 農業・食品産業技術総合研究機構 <http://www.naro.affrc.go.jp>
(国) 北海道大学応用分子生物学分野応用分子昆虫学研究室 <http://www.agr.hokudai.ac.jp/rfoa/abs/abs2-1.html>
(国) 岩手大学農学部生命資源科学コース応用昆虫学研究室 <http://news7a1.atm.iwate-u.ac.jp/departement2/agri/life.html>
(国) 宇都宮大学農学部分子昆虫学研究室 <http://shigen.mine.utsunomiya-u.ac.jp/insectbiotechnology/>
(国) 東京大学大学院農学生命科学研究科生産・環境生物学専攻昆虫遺伝研究室 <http://papilio.ab.a.u-tokyo.ac.jp/igb/index-J.html>
(国) 東京農工大学農学部生物生産学科蚕学研究室 <http://www.tuat.ac.jp/~kaiko>
(国) 東京農工大学工学部生命工学科 <http://www.tuat.ac.jp/~seimei>
(国) 名古屋大学農学部 <http://www.agr.nagoya-u.ac.jp>
(国) 信州大学繊維学部 <http://www.tex.shinshu-u.ac.jp>
(国) 京都工芸繊維大学工学部応用生物学課程 <http://www.bio.kit.ac.jp>
(国) 鳥取大学農学部生物資源環境学科昆虫機能学教育研究分野 <http://muses.muses.tottori-u.ac.jp>
(国) 山口大学農学部生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/bioenvi/research2.html>
(国) 九州大学大学院生物資源環境科学府蚕学研究室 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sangaku>
(国) 九州大学大学院農学研究院遺伝子資源開発研究センター家蚕遺伝子開発分野 <http://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/sanshi/insect/top.html>
群馬県蚕糸技術センター <http://www.pref.gunma.jp/07/p14710007.html>
群馬県繊維工業試験場 <http://www.pref.gunma.jp/07/p20210013.html>
京都府繊維・機械金属振興センター <http://www.pref.kyoto.jp/oriki>
(地独) 京都市産業技術研究所 <http://www.tc-kyoto.or.jp>
(公財) 衣笠繊維研究所 <http://krf-textile.com>
(一財) 大日本蚕糸会 蚕糸科学技術研究所 <http://www.silk.or.jp>

【学 会】

日本シルク学会
(一社) 日本蚕糸学会
日本野蚕学会

<http://jsst.sakura.ne.jp>
<http://jsss.or.jp>
<http://jswsmo.appspot.com>

【博物館】

(一財) シルクセンター国際貿易観光会館 シルク博物館
群馬県立日本絹の里
愛媛県西予市野村シルク博物館
東京農工大学科学博物館

<http://www.silkcenter-kbkk.jp/museum>
<http://www.nippon-kinunosato.or.jp>
<http://www.city.seiyo.ehime.jp/soshiki/silkmuseum>
<http://www.tuat.ac.jp/~museum>

【博物館】

駒ヶ根シルクミュージアム
織成館（京都市上京区）
高崎市染料植物園
群馬県立歴史博物館
岡谷蚕糸博物館（シルクファクトおかや）
はたや記念館ゆめおーれ勝山
美馬蚕糸館

<http://komagane-silk.com/>
<http://orinasukan.skr.jp>
<http://www.city.takasaki.gunma.jp/docs/201401140097>
<http://grekisi.pref.gunma.jp>
<http://silkfact.jp>
<http://www.city.katsuyama.fukui.jp/hataya>
<https://mimasanshikan.wixsite.com/mimasanshikan>

【富岡製糸場と絹産業遺産群】

富岡製糸場
群馬県 企画部 世界遺産課
ぐんま絹遺産
上毛新聞社関連記事

<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/ja>
<http://worldheritage.pref.gunma.jp/kinuisan>
http://jomo-news.co.jp/ns/series/silk_index.html

統計資料の年間掲載計画

＜国内＞	1月号	4月号	7月号	10月号
(1) 蚕糸絹業の概要	○	○	○	○
(2) 養蚕農家数	○	○	○	○
(3) 繭生産数量の推移	○	○	○	○
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数		○		
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量		○		
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移		○		
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	○	○	○	○
(8) 生糸の織度別生産数量の推移		○		○
(9) 絹需給の推移(生産量換算試算)	○	○	○	○
(10) 品目別・二次製品輸入数量(生糸量換算試算)		○		
(11) 製糸工場の原料繭需給	○	○	○	○
(12) 製糸工場の操業状況	○	○	○	○
(13) 生糸在庫数量の内訳	○	○	○	○
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況		○		
(15) 生糸の原産国別輸入数量		○		○
(16) 絹糸の原産国別輸入数量		○		○
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価		○		○
(18) 絹織物生産数量	○	○	○	○
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	○	○	○	○
＜海外＞				
(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	○	○	○	○
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量		○		
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	○	○	○	○

統計資料目次

<国内>

(1) 蚕糸絹業の概要	36
(2) 養蚕農家数の推移	37
(3) 繭生産数量の推移	38
(4) 蚕期別、都府県別養蚕農家戸数	39
(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量	40
(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移	41
(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況	42
(8) 生糸の織度別生産数量の推移	43
(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）	44
(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）	45
(11) 製糸工場の原料繭需給	46
(12) 製糸工場の操業状況	47
(13) 生糸在庫数量の内訳	48
(14) 蚕糸関係品目別輸入状況	49
(15) 生糸の原産国別輸入数量	50
(16) 絹糸の原産国別輸入数量	51
(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価	52
(18) 絹織物生産数量	53
(19) 丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量	54

<海外>

(1) 世界主要国の家蚕繭生産数量	56
(2) 世界主要国の家蚕生糸生産数量	57
(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格	58

一資料・国内一

(1) 蚕糸絹業の概要

Outline of Sericultural, Silk-Reeling, and Silk Fabric Industry in Japan

項目 item 年次（暦年） Calendar year	養蚕業 Sericultural Industry			製糸業 Silk-Reeling Industry			絹業 Silk Fabric Industry	
	養蚕農家 戸数 Number of Silk- Raising Farmer	収繭量 Cocoon Production	1戸当 収繭量 Cocoon Production per Farmer	生糸 生産量 Raw Silk Production	運転 工場数 Number of Mills	稼働率 Operation ratio	絹人織機 設備台数 (保有台数) Number of Silk Loom	絹織物 生産量 Silk Fabric Production
	戸 Number	トン t	kg	千俵 1,000 Bale of 60kg	工場 Number	%	千台 1,000	千㎡ 1,000 sq. meters
2000 (H12)	3280.0	1244.0	379.0	9.3	8	67	62.9	32,275
2001 (13)	2730.0	1031.0	378.0	7.2	8	63	56.8	29,801
2002 (14)	2360.0	880.0	372.9	6.5	17	68	51.2	26,826
2003 (15)	2070.0	780.0	377.0	4.8	14	64	48.7	23,935
2004 (16)	1850.0	683.0	369.0	4.4	13	62	45.6	21,895
2005 (17)	1591.0	626.0	393.0	2.5	10	62	43.7	19,816
2006 (18)	1345.0	505.0	375.0	2.0	9	82	41.6	18,507
2007 (19)	1169.0	433.0	370.0	1.8	8	83	40.0	15,466
2008 (20)	1021.0	382.0	374.0	1.6	6	80	38.1	14,043
2009 (21)	915.0	327.0	357.0	1.2	6	60	33.6	9,955
2010 (22)	756.0	265.0	351.0	0.9	7	49	35.9	3,611
2011 (23)	627.0	220.0	351.0	0.7	7	52	34.7	3,152
2012 (24)	571.0	202.0	354.0	0.5	7	35	33.3	2,912
2013 (25)	486.0	168.0	345.7	0.4	9	35	32.0	2,940
2014 (26)	393.0	149.0	379.1	0.4	9	35	—	2,734
2015 (27)	368.0	135.0	366.8	0.4	8	30	—	2,316
2016 (28)	349.0	130.0	372.5	0.3	8	26	—	2,243
2017 (29)	336.0	125.0	372.0	0.3	8	28	—	2,195
2018 (30)	293.0	110.0	375.4	0.3	8	46	—	2,113
2019 (R1)	264.0	92.0	348.5	0.3	8	36	—	1,939
2020 (R2)	228.0	80.0	350.9	0.2	8	31	—	—
前年比 (%) 2020/2019	86.4	87.0	100.7	66.7	100.0	86.1	—	—

資料 ・ 2008年以前の養蚕業及び製糸業は、農林水産省調査によるものである。

・ 2009年以降の養蚕業は、全国農業協同組合連合会及び（一財）大日本蚕糸会調査、2011年以降は（一財）大日本蚕糸会調査である。

・ 2009年以降の製糸業は、中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会調査、2018年11月以降は（一財）大日本蚕糸会調査である。

・ 2008年以前の絹業は経済産業省調査であり、2009年以降絹業は（一社）日本絹人織機物工業会調査である。

（注）2006年以降の絹織物生産量は、絹紡織物を含む。

（注）製糸業の運転工場数及び稼働率は器械製糸工場の操業状況であるが、2002年以降はすべての製糸工場のものである。

Source: ・ Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (MAFF) (Sericultural and Silk-Reeling, before 2008)

・ National Federation of Agricultural Co-operative Associations and the Dainippon Silk Foundation

(Sericultural Industry, after 2009). The Dainippon Silk Foundation (after 2011)

・ Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (Silk-Reeling, after 2009)

The Dainippon Silk Foundation (after Nov. 2018)

・ The Ministry of Economy Trade and Industry (Silk Fabric, before 2008). Japan Silk & Rayon Weaver's Association (after 2009)

Note: Silk Fabric Production from 2006 includes spun silk fabrics.

Note: The number of operating mills and operation ratio are of machine reeling mills. (After 2002, all reeling mills)

(2) 養蚕農家数の推移

Farm households raising silk-worm

(単位：戸)

(Unit: number)

年次 Year	項目 Item	年間 Annual total	春蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 Early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
2000		3,280	2,970	2,170	2,700
2001		2,730	2,410	1,870	2,270
2002		2,360	1,992	1,720	1,918
2003		2,070	1,875	1,503	1,751
2004		1,850	1,621	1,371	1,551
2005		1,591	1,420	1,061	1,345
2006		1,345	1,215	852	1,102
2007		1,169	1,052	726	988
2008		1,021	929	613	857
2009		915	814	647	755
2010		756	650	494	637
2011		627	562	358	531
2012		571	514	319	462
2013		486	422	260	399
2014		393	359	230	328
2015		368	323	221	313
2016		349	310	209	310
2017		336	307	201	280
2018		293	254	179	262
2019		264	233	153	224
2020		228	204	129	188
前年比(%) 2020/2019		86.4	87.6	84.3	83.9

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年）（一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(3) 繭生産数量の推移 Cocoon Production

年 次 Year	項 目 Item	年 計 Annual total				1戸当り収繭量 Cocoon production per farm household raising silk-worm			
		年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm	年 間 Annual total	春 蚕 Spring silk-worm	初秋蚕 early autumn silk-worm	晩秋蚕 Late autumn silk-worm
		t	t	t	t	kg	kg	kg	kg
2000		1,244	500	320	424	379	169	148	157
2001		1,031	391	275	365	378	162	147	161
2002		880	330	231	320	373	166	134	167
2003		775	313	210	253	374	167	140	144
2004		675	256	176	243	369	158	128	157
2005		626	243	165	218	396	171	156	162
2006		505	209	122	173	375	172	143	157
2007		433	175	110	148	371	166	152	150
2008		382	147	96	139	374	158	157	162
2009		327	124	85	118	357	152	131	156
2010		265	107	60	98	351	165	121	154
2011		220	95	49	76	351	169	136	143
2012		202	79	50	73	354	155	156	159
2013		168	61	41	67	346	145	158	168
2014		149	55	36	58	379	153	157	176
2015		135	49	32	54	368	151	147	174
2016		130	47	32	50	372	153	155	162
2017		125	47	29	49	372	153	144	175
2018		110	41	24	46	375	161	134	176
2019		92	35	22	35	355	153	144	158
2020		80	31	19	30	350	151	148	158
前年比 (%) 2020/2019		87.0	88.6	86.4	85.7	98.5	98.8	102.9	99.8
2020年 構成比 (%)		100.0	38.8	23.8	37.5				

資料：農林水産省統計情報部（～2001年） 全国農業協同組合連合会（2002年～2004年）

農林水産省生産局（2005年～2008年） （一財）大日本蚕糸会（2009年～）

Source: The Statistics and Information Department, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2001).

National Federation of Agricultural Co-operative Associations (2002～2004).

The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (2005～2008).

The Dainippon Silk Foundation (2009～).

(4)蚕期別、都府県別養蚕農家戸数

Farm households raising silk-worm by prefectures

(単位:戸、%)

都府県名	春蚕期			初秋蚕期			晩秋蚕期			年 間		
	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年対比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年対比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年対比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年対比
青森県	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	—	—
岩手県	8	7	87.5	9	6	66.7	10	9	90.0	11	9	81.8
宮城県	7	8	114.3	7	5	71.4	10	9	90.0	11	11	100.0
山形県	5	4	80.0	3	—	—	3	2	66.7	5	4	80.0
福島県	27	20	74.1	25	22	88.0	28	22	78.6	33	25	75.8
茨城県	6	4	66.7	6	3	50.0	5	5	100.0	7	5	71.4
栃木県	20	19	95.0	14	14	100.0	20	19	95.0	21	19	90.5
群馬県	91	75	82.4	55	47	85.5	83	71	85.5	98	83	84.7
埼玉県	18	17	94.4	13	14	107.7	17	13	76.5	19	17	89.5
千葉県	4	3	75.0	1	2	200.0	4	4	100.0	4	4	100.0
東京都	3	2	66.7	—	—	—	2	1	50.0	3	2	66.7
山梨県	7	8	114.3	3	2	66.7	7	4	57.1	9	9	100.0
長野県	12	12	100.0	8	5	62.5	11	10	90.9	14	13	92.9
岐阜県	8	6	75.0	—	—	—	7	6	85.7	9	7	77.8
愛知県	1	1	100.0	—	—	—	1	—	—	1	1	100.0
滋賀県	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	—
兵庫県	1	1	100.0	—	—	—	—	—	—	1	1	100.0
愛媛県	8	10	125.0	5	5	100.0	8	9	112.5	9	10	111.1
熊本県	2	2	100.0	—	—	—	2	2	100.0	2	2	100.0
宮崎県	2	3	150.0	1	2	200.0	3	2	66.7	3	3	100.0
鹿児島県	3	2	66.7	2	2	100.0	3	—	—	3	2	66.7
全国計	233	205	88.0	153	129	84.3	224	188	83.9	264	228	86.4

資料:(一財)大日本蚕糸会

Source: The Dainippon Silk Foundation

(5) 蚕期別、都府県別繭生産数量 Cocoon production by prefectures

(単位 : kg、%)

都府県等	春 蚕 期			初 秋 蚕 期			晩 秋 蚕 期			年 間		
	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年比	2019年 (R1)	2020年 (R2)	前年比
青森県	-	-	—	70.7	-	-	-	-	-	70.7	-	-
岩手県	837.7	796.4	95.1	1,190.9	618.5	51.9	1,315.2	838.4	63.7	3,343.8	2,253.3	67.4
宮城県	1,086.1	1,043.9	96.1	1,062.3	1,008.0	94.9	1,300.1	951.8	73.2	3,448.5	3,003.7	87.1
山形県	877.7	933.9	106.4	446.7	-	-	931.2	441.7	47.4	2,255.6	1,375.6	61.0
福島県	4,422.9	4,253.9	96.2	4,221.1	4,489.2	106.4	4,860.7	4,959.8	102.0	13,504.7	13,702.9	101.5
茨城県	1,004.1	582.7	58.0	719.4	368.7	51.3	1,037.1	723.1	69.7	2,760.6	1,674.5	60.7
栃木県	5,455.2	5,114.9	93.8	2,890.9	2,526.7	87.4	6,871.0	6,228.3	90.6	15,217.1	13,869.9	91.1
群馬県	13,657.0	10,898.4	79.8	7,960.0	6,810.8	85.6	12,518.6	10,363.1	82.8	34,135.6	28,072.3	82.2
埼玉県	2,558.0	2,326.1	90.9	1,227.0	1,364.6	111.2	2,014.2	1,666.3	82.7	5,799.2	5,357.0	92.4
千葉県	484.5	448.0	92.5	161.3	221.3	137.2	394.5	439.4	111.4	1,040.3	1,108.7	106.6
東京都	134.0	113.4	84.6	-	-	-	78.6	41.8	53.2	212.6	155.2	73.0
山梨県	1,620.3	1,203.8	74.3	394.8	274.0	69.4	1,104.2	548.0	49.6	3,119.3	2,025.8	64.9
長野県	998.2	1,063.3	106.5	736.9	534.9	72.6	1,122.0	879.1	78.4	2,857.1	2,477.3	86.7
岐阜県	438.9	469.1	106.9	-	-	-	316.4	267.5	84.5	755.3	736.6	97.5
愛知県	36.6	36.5	99.7	-	-	-	18.2	-	-	54.8	36.5	66.6
滋賀県	-	16.0	-	-	-	-	-	-	-	-	16.0	-
兵庫県	35.0	35.6	101.7	-	-	-	-	-	-	35.0	35.6	101.7
愛媛県	1,150.9	1,323.2	115.0	1080.5	793.4	73.4	994.3	1,235.4	124.2	3,225.7	3,352.0	103.9
熊本県	47.0	62.8	133.6	-	-	-	73.8	73.0	98.9	120.8	135.8	112.4
宮崎県	53.9	135.9	252.1	31.7	49.1	154.9	127.6	63.5	49.8	213.2	248.5	116.6
鹿児島県	72.0	31.0	43.1	41.5	42.0	101.2	57.5	-	-	171.0	73.0	42.7
全国計	34,970.0	30,888.8	88.3	22,235.7	19,101.2	85.9	35,135.2	29,720.2	84.6	92,340.8	79,710.2	86.3

資料：(一財)大日本蚕糸会

Source: The Dainippon Silk Foundation

(6) 蚕品種別蚕種製造数量の推移

Production by Sort of Silk-Worm Eggs

Item	Year	2017年 (平成29年)		2018年 (平成30年)		2019年 (令和1年)		2020年 (令和2年)	
		箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %	箱 box	割合 rate %
錦 秋 × 鐘 和		1,566	19.2	1,575	20.3	2,115	39.7	1,593	29.9
春 嶺 × 鐘 月		906	11.1	900	11.6	1,094	20.5	1,274	23.9
ぐ ん ま 2 0 0		926	11.3	793	10.2	643	12.1	669	12.6
錦 秋 1 号 × 鐘 和 1 号		2,635	32.3	2,496	32.2	781	14.7	520	9.8
春 嶺 1 号 × 鐘 月 1 号		700	8.6	715	9.2	383	7.2	302	5.7
な つ こ						6	0.1	216	4.1
かいりょう × あけぼの		94	1.2	89	1.1	87	1.6	95	1.8
緑 繭 2 号		120	1.5	106	1.4	75	1.4	95	1.8
松 岡 姫		275	3.4	272	3.5	171	3.2	85	1.6
新 小 石 丸		143	1.8	138	1.8	115	2.2	81	1.5
MCS107 × セヴェンヌ白				18	0.2	155	2.9	60	1.1
小 石 丸		85	1.0	29	0.4	26	0.5	56	1.1
ぐ ん ま 細		48	0.6	66	0.9	80	1.5	54	1.0
白 繭 細 1 号		79	1.0	57	0.7	45	0.8	52	1.0
プ ラ チ ナ ボ ー イ		56	0.7	51	0.7	52	1.0	51	1.0
玉 小 石		29	0.4	14	0.2	25	0.5	24	0.5
白 麗		30	0.4	66	0.9	60	1.1	20	0.4
朝 日 × 東 海		59	0.7	29	0.4	26	0.5	15	0.3
お り ひ め								12	0.2
青 熟 × C 5 ・ 505				6	0.1	6	0.1	11	0.2
青 熟 × C 5 ・ C 6		27	0.3	26	0.3	10	0.2	10	0.2
奄 美 黄 金		10	0.1	6	0.1	7	0.1	10	0.2
ぐ ん ま 黄 金		55	0.7	56	0.7	27	0.5	9	0.2
黄 白		8	0.1	8	0.1	8	0.2	8	0.2
N 5 ・ N 6 × T Y 4 0		8	0.1	8	0.1	5	0.1	4	0.1
蚕 技 研 11 号		46	0.6	37	0.5	17	0.3		
大 寶 × 黄 金		45	0.6	45	0.6	15	0.3		
上 州 絹 星		12	0.1	9	0.1	14	0.3		
Q L 2 6 × B L G 5						12	0.2		
改 良 小 石 丸		70	0.9	77	1.0				
い ろ ど り		40	0.5	46	0.6				
青 熟 × 支 21 号				11	0.1				
秋 光 × 竜 白		12	0.1	3	0.0				
太 平 × 長 安		9	0.1	1	0.0				
世 紀 二 一		50	0.6						
山 東 3 眠 × C 5 ・ 507		14	0.2						
支 21 号 × 四 川 3 眠		5	0.1						
合 計 Total		8,162	100.0	7,753	100.0	6,060	100.0	5,326	100.0

資料:(一財)大日本蚕糸会

Source : The Dainippon Silk Foundation

(7) 生糸需給及び絹糸・絹織物の輸出入状況

Raw Silk Supply / Demand Balance and Import/Export of Silk Yarn and Silk Fabric

項目 Item 年 月 Year & Month	生 糸 Raw Silk					絹 糸 Silk Yarn		絹 織 物 Silk Fabrics	
	生産数量	輸入数量	輸出数量	国内引渡数量	期末在庫数量	輸入数量	輸出数量	輸入数量	輸出数量
	Production (A)	Imports (B)	Exports (C)	Domestic Deliveries (D)	Ending Stocks (E)	Imports (F)	Exports (G)	Imports (H)	Exports (I)
暦 年 Calendar Year	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	俵 Bales of 60kg	1000SM	1000SM
2010	882	12,207	595	13,220	3,329	16,306	324	8,930	6,302
2011	731	9,323	578	10,349	2,456	17,526	427	8,422	6,229
2012	506	10,032	419	10,274	2,180	16,179	320	7,218	5,545
2013	409	9,332	292	9,919	1,712	15,844	426	6,662	5,431
2014	446	8,235	14	8,726	1,653	14,820	330	6,098	5,125
2015	378	6,479	0	7,194	1,410	14,051	302	5,468	5,085
2016	317	6,548	0	6,869	1,406	12,094	177	5,207	4,940
2017	339	7,560	1	7,557	1,747	14,560	245	4,897	4,785
2018	339	5,038	1	5,793	1,330	11,092	213	4,151	4,854
2019	269	4,852	4	5,018	1,429	10,920	165	3,893	4,750
2020	203	2,443	0	3,009	1,066	6,226	167	2,551	3,634
2019 - 1	25	382	0	382	1,355	855	18	486	362
2	27	358	3	399	1,338	644	16	172	365
3	26	870	0	710	1,524	920	5	266	484
4	18	1	1	264	1,278	937	23	305	444
5	19	595	0	464	1,428	1,033	19	310	369
6	22	301	0	307	1,444	834	8	359	389
7	23	392	0	418	1,441	922	14	395	417
8	11	427	0	430	1,449	1,104	12	280	378
9	28	390	0	496	1,371	932	8	325	380
10	21	386	1	301	1,476	911	12	278	406
11	24	446	0	530	1,416	974	12	330	404
12	25	304	0	316	1,429	855	19	387	351
2020 - 1	20	549	0	588	1,410	1,178	15	341	275
2	23	124	0	166	1,391	303	41	139	378
3	19	682	0	750	1,342	962	37	262	398
4	23	—	0	134	1,231	662	15	233	307
5	16	280	0	242	1,285	854	10	244	223
6	14	209	0	146	1,362	422	3	169	227
7	15	24	0	97	1,304	283	11	256	268
8	11	55	0	100	1,270	249	4	121	239
9	9	73	0	151	1,201	308	4	214	333
10	16	101	0	142	1,176	215	7	181	346
11	15	63	0	149	1,105	305	11	247	333
12	22	283	0	344	1,066	487	9	146	308
2021 - 1	11	123	0	141	1,059	428	6	266	286

資料：(A) (C) (D) (E) 農林水産省生産局（～2010.3） 中央蚕糸協会及び日本生糸問屋協会（2010.4～2012.11）

中央蚕糸協会（2012.12～2018.10）（一財）大日本蚕糸会（2018.11～）(B) (F) (G) (H) (I) 財務省関税局

備考：1. 国内引渡数量(D) = {前月在庫数量+(A)+(B)} - {(C)+(E)}。

2. kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

3. (D) と (E) は2012年11月までと同年12月以降調査方法が変更したため連続性はない。

Source：(A) (C) (D) (E) The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010.3）、Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association (2010.4～2012.11)、Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～) (B) (F) (G) (H) (I) The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks：1. Domestic deliveries (D) = {Stock at end of the previous month + (A) + (B)} - {(C) + (E)}.

2. Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(8) 生糸の織度別生産数量の推移

Raw Silk Production by Sizes

(単位：60kg俵)

(Unit: Bales of 60kg)

年 月 Year & Month	項 目 Item	生 糸 Raw Silk				
	計 Total	18デニール以下 17/19or 17/19 finer	21デニール 20/22	27デニール 26/28	31デニール 30/32	その他 Others
暦 年 Calendar Year						
2010	882	1	179	316	86	300
2011	731	1	188	249	89	204
2012	506	0	109	202	73	82
2013	409	0	109	105	57	138
2014	446	0	114	116	62	155
2015	378	0	146	86	36	110
2016	317	0	98	103	38	78
2017	339	0	107	95	53	84
2018	339	0	106	104	65	63
2019	269	1	102	46	30	90
2020	203	1	51	76	4	71
2019 - 1	25	—	11	0	8	6
2019 - 2	27	—	11	0	8	8
2019 - 3	26	—	12	3	3	8
2019 - 4	18	—	3	7	3	5
2019 - 5	19	—	4	5	0	10
2019 - 6	22	—	9	6	2	5
2019 - 7	23	—	9	5	1	8
2019 - 8	11	—	6	0	0	5
2019 - 9	28	1	9	8	2	8
2019 - 10	21	—	7	2	2	10
2019 - 11	24	—	9	2	0	13
2019 - 12	25	—	12	8	1	4
2020 - 1	20	—	4	11	0	5
2020 - 2	23	—	7	9	0	7
2020 - 3	19	—	8	5	0	6
2020 - 4	23	—	9	4	2	8
2020 - 5	16	—	1	6	2	7
2020 - 6	14	—	4	5	0	5
2020 - 7	15	—	2	7	0	6
2020 - 8	11	1	1	5	0	4
2020 - 9	9	—	1	4	0	4
2020 - 10	16	—	6	1	0	9
2020 - 11	15	—	6	4	0	5
2020 - 12	22	—	2	15	0	5
2021 - 1	11	—	6	0	0	5

資料：農林水産省生産局（～2010. 3） 中央蚕糸協会（2010. 4～2018. 10） （一財）大日本蚕糸会（2018. 11～）

備考：kgを60kg俵に換算しているため、各月の計と合計とが一致しない場合がある。

Source: The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (～2010. 3).

Central Raw Silk Association (2010. 4～2018. 10). The Dainippon Silk Foundation (2018. 11～)

Remarks: Monthly volume may not add up the total volume due to round off.

(9) 絹需給の推移（生糸量換算試算）

Silk Supply and Demand Balance (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000Bales of 60kg)

項目 Item 曆年 Calendar Year	供給計 Supply Total ①								需要計 Demand Total ②=①-④							期末 在庫 Ending Stocks ④
	期初 在庫 Opening Stocks	生 産 Produc- tion	輸 入 Import					計 ③ Total	輸 出 Export					内 需 Domestic Demand ②-③		
			計 Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second		計 ③ Total	生 糸 Raw Silk	絹 糸 Silk Yarn	織 物 Fabrics	二 次 The Second			
2000	376	119	9	248	39	32	28	149	263	16	0	0	14	2	247	113
2001	350	113	7	230	30	23	25	152	237	17	0	0	15	2	220	113
2002	366	113	7	246	32	28	24	162	261	18	0	0	16	2	243	105
2003	361	105	5	251	31	33	25	162	261	20	2	0	17	1	241	100
2004	353	100	4	249	26	30	25	168	268	30	11	0	18	1	238	85
2005	354	85	3	266	22	33	30	181	270	27	4	1	21	1	243	84
2006	334	84	2	248	20	32	24	172	257	22	0	1	20	1	235	77
2007	293	77	2	214	13	19	21	161	222	21	0	1	18	2	201	71
2008	276	71	2	203	15	23	20	145	213	16	0	0	15	1	197	63
2009	237	63	1	173	12	16	15	130	190	16	0	0	15	1	174	47
2010	225	47	1	177	12	16	16	133	182	16	0	0	15	1	166	43
2011	227	43	1	183	9	18	14	142	180	16	0	0	15	1	164	47
2012	230	47	1	182	10	16	14	142	184	15	0	0	14	1	169	46
2013	248	46	0	202	9	16	13	164	203	14	0	0	13	1	189	45
2014	225	45	0	180	8	15	12	145	180	14	0	0	13	1	166	45
2015	221	45	0	176	6	14	11	145	176	17	0	0	12	5	159	45
2016	240	45	0	195	7	12	14	162	195	15	0	0	9	6	180	45
2017	239	45	0	194	8	15	9	162	194	21	0	0	11	10	172	45
2018	205	45	0	160	5	11	8	135	160	26	0	0	10	16	134	45
2019	206	45	0	161	5	11	8	137	161	25	0	0	10	15	136	45
2020	182	45	0	137	2	6	6	123	137	27	0	0	8	19	110	45
前年比 (%) 2020/ 2019	88	100	—	85	41	55	75	90	85	107	—	—	80	127	81	100

資料：蚕糸業需給・価格動向隔月報・繊維統計月報・日本貿易月報

備考：2013年から期末在庫を45千俵とする。

Source: "Silk balance and price situation monthly", "Trade Statistics"

(10) 品目別・二次製品輸入数量（生糸量換算試算）

Breakdown of Silk Second Products Imports (Raw Silk Value Estimation)

(単位：千俵)

(Unit: 1,000 Bales of 60kg)

項目 Item		暦年 Calendar Year	2015	2016	2017	2018	2019	2020	前年比% y/y	構成比% ratio
布 は く 製 Product made in cloth	男子用外衣類 Men's upper garments		2.4	2.2	1.7	1.3	1.5	1.1	74.4	0.9
	女子用外衣類 Women's upper garments		65.6	73.9	81.2	86.7	85.1	78.4	92.1	63.6
	うちブラウス Blouse of the inside		1.2	1.0	0.9	0.3	0.7	0.6	89.2	0.5
	男子用下着・寝具衣料 Men's underwear・bedding cloth		1.3	1.9	2.2	0.6	2.3	1.8	79.8	1.5
	女子用下着・寝具衣料 Women's underwear・bedding cloth		18.8	20.3	22.1	23.1	20.5	20.3	99.0	16.5
	ハンカチ Handkerchief		0.3	0.2	0.3	0.1	0.2	0.1	50.0	0.1
	ショール、スカーフ類 Shawl, scarves		1.9	1.5	1.4	0.3	0.0	0.0	—	—
	ネクタイ類 Ties		7.8	7.9	10.5	1.4	6.2	3.3	53.2	2.7
	メリヤス、クロセス編物 Knit. kurose knitting		17.9	23.2	11.1	3.9	3.6	3.9	107.0	3.2
	その他の洋装類 Other western clothes		15.9	15.4	14.8	13.7	14.1	11.5	81.6	9.3
洋装類計 Western clothes subtotal			131.9	147.5	145.3	131.1	133.4	120.3	90.2	97.6
和装類計 Japanese clothes subtotal			10.3	11.5	13.9	1.2	0.9	0.9	96.4	0.7
	うち絹製の帯小物等 Silk obi accessories of the inside		8.6	10.1	12.3	0.0	0.0	0.0	—	—
その他 Others			2.6	2.5	2.6	2.9	2.3	2.0	86.0	1.6
合 計 Total			144.7	161.5	161.8	135.2	136.7	123.2	90.1	100.0

資料：財務省「日本貿易月報」

注）：ラウンドにより合計が一致しないことがある。

Source：The Customs Bureau, Ministry of Finance “Trade Statistics”

Note：Total may not added up due to round off.

(11) 製糸工場の原料繭需給

Balance of Cocoons as Raw Materials by Reeling Mills

(単位：生繭. t)

(Unit: Ton by fresh weight)

年 月 Year & Month	項 目 Item	総 計 Grand Total		
		受入数量 Receipts	消費数量 Put in Process	期末在庫数量 Ending Stocks
暦 年 Calendar Year				
2010		240	299	263
2011		189	162	237
2012		185	209	183
2013		142	137	188
2014		128	158	158
2015		116	159	115
2016		115	110	120
2017		103	120	103
2018		92	117	78
2019		89	97	70
2020		72	73	69
2019 -	1	2	9	71
	2	0	10	61
	3	0	9	52
	4	0	7	45
	5	0	7	38
	6	18	8	48
	7	13	8	53
	8	14	4	63
	9	0	9	54
	10	22	8	68
	11	16	9	75
	12	4	9	70
2020 -	1	0	7	63
	2	0	8	55
	3	0	7	47
	4	1	8	40
	5	0	5	35
	6	14	5	44
	7	12	5	51
	8	13	5	59
	9	3	3	59
	10	24	6	77
	11	5	6	76
	12	1	8	69
2021 -	1	0	4	65

資料：農林水産省生産局（～2010. 3）中央蚕糸協会及び（社）日本生糸問屋協会（2010. 4～2012. 11）

中央蚕糸協会（2012. 12～2018. 10）（一財）大日本蚕糸会（2018. 11～）

備考：1. 本表は上繭及び玉屑繭の合計である。

2. 受入数量=本月末在庫数量+消費数量-前月末在庫数量。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries（～2010. 3）.

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association（2010. 4～2012. 11）.

Central Raw Silk Association（2012. 12～2018. 10）. The Dainippon Silk Foundation（2018. 11～）

Remarks：1. This table includes reelable, doupion and waste cocoons.

2. Receipts=(Ending stocks of the current month)+(put in process)-(Ending stocks of the preceding month).

(12) 製糸工場の操業状況

Activities of Reeling Mills

年 月 Year & Month	項 目 Item	運転工場数 Operating Reeling Mills	設 備 数(台) Reeling Machines		運 転 率 (%) Operating Ratio	操業日数 Days Operated	従業者数 Number of Workers
			運転可能 Operable	運 転 Operating			
暦 年 Calendar Year							
2010		7	118	58	49	247	73
2011		7	110	57	52	252	65
2012		7	110	39	35	243	56
2013		9	110	38	35	249	57
2014		9	110	38	35	261	58
2015		8	110	33	30	263	53
2016		8	110	29	26	267	55
2017		8	110	31	28	266	59
2018		8	74	34	46	253	57
2019		8	74	27	36	239	51
2020		8	74	23	31	218	48
2019 -	1	7	74	36	49	20	56
	2	6	74	36	49	20	52
	3	7	74	34	46	21	56
	4	6	74	21	28	20	42
	5	6	74	19	26	21	42
	6	7	74	26	35	21	45
	7	7	74	23	31	18	46
	8	7	74	14	19	17	45
	9	7	74	32	43	21	51
	10	8	74	28	38	20	54
	11	8	74	31	42	20	54
	12	7	74	28	38	20	51
2020 -	1	7	74	32	43	19	50
	2	7	74	26	35	20	49
	3	7	74	27	36	22	49
	4	7	74	29	39	20	50
	5	7	74	27	36	15	50
	6	8	74	19	26	14	53
	7	8	74	17	23	22	52
	8	6	74	17	23	14	38
	9	6	74	15	20	19	37
	10	6	74	9	12	22	37
	11	7	74	27	36	14	48
	12	7	74	28	38	17	48
2021 -	1	6	74	16	22	14	48

資料：農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

備考：1. 設備数中の運転可能及び運転台数は毎月の算術平均である。

2. 運転率は運転可能台数に対する運転台数の比率である。

3. 従業者数は期末現在の在籍従業員数である。

Source：The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～).

Central Raw Silk Association(2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

Remarks：1. The number of operable and operating reeling machines is arithmetic means of monthly figures.

2. Operating ratio means ratio of operating machines in operable machines.

3. Number of workers are those on payroll as of end of period.

(13) 生糸在庫数量の内訳

Breakdown of Raw Silk Stocks

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

項 目 Item	計 Total	製糸工場 Filatures Mills	生糸市場外 売買業者 Domestic Dealers	生糸輸出 入業者 Ex and Importers
年 月 Year & Month				
暦 年 Calendar Year				
2010	3,329	319	2,354	656
2011	2,456	288	1,651	517
2012	2,180	124	2,056	
2013	1,712	110	1,602	
2014	1,653	78	1,575	
2015	1,410	94	1,316	
2016	1,406	130	1,276	
2017	1,747	156	1,591	
2018	1,330	230	1,100	
2019	1,429	238	1,191	
2020	1,066	178	888	
2019 - 1	1,355	230	1,125	
2	1,338	246	1,092	
3	1,524	239	1,285	
4	1,278	236	1,042	
5	1,428	239	1,189	
6	1,444	245	1,199	
7	1,441	242	1,199	
8	1,449	238	1,211	
9	1,371	239	1,132	
10	1,476	233	1,243	
11	1,416	238	1,178	
12	1,429	238	1,191	
2020 - 1	1,410	196	1,214	
2	1,391	178	1,213	
3	1,342	178	1,164	
4	1,231	186	1,045	
5	1,285	194	1,091	
6	1,362	181	1,181	
7	1,304	181	1,123	
8	1,270	180	1,090	
9	1,201	170	1,031	
10	1,176	166	1,010	
11	1,105	168	937	
12	1,066	178	888	
2021 - 1	1,059	182	877	

資料 : 農林水産省生産局(～2010.3) 中央蚕糸協会及び(社)日本生糸問屋協会(2010.4～2012.11)

中央蚕糸協会(2012.12～2018.10) (一財)大日本蚕糸会(2018.11～)

Source : The Agricultural Production Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries(～2010.3).

Central Raw Silk Association and Japan Raw Silk Dealer's Association(2010.4～2012.11).

Central Raw Silk Association (2012.12～2018.10). The Dainippon Silk Foundation (2018.11～)

(14) 蚕糸関係品目別輸入状況

Breakdown of Silk-Related Products Imports

	単位 Unit	2016	2017	2018	2019	2020	2020/2019 (%)
生糸・玉糸計 Raw Silk and Doupion Silk	俵 Bales of 60kg	6,546	7,560	5,038	4,852	2,443	50.4
絹糸 Silk Yarn	俵 Bales of 60kg	12,094	14,560	11,092	10,920	6,226	57.0
野蚕糸 Wild Raw Silk	俵 Bales of 60kg	41	39	18	22	12	54.5
繭 Cocoon	kg	7,000	6,400	7,000	5,000	3,400	68.0
くず繭 Waste Cocoon	kg	4,602	6,289	6,829	982	1,818	185.1
その他の絹くず Other Silk Waste	kg	53,737	57,361	89,045	24,629	47,904	194.5
絹のくず計 Silk Waste Total	kg	58,339	63,650	95,874	25,611	49,722	194.1
絹紡糸 Spun silk yarn from silk waste other than noil	kg	331,100	320,022	286,235	251,731	180,505	71.7
絹紡紬糸 Spun silk yarn from noil silk	kg	121,788	118,382	149,274	123,741	109,845	88.8
絹織物 Silk Fabrics	m ²	5,206,131	4,896,980	4,150,559	3,893,201	2,551,036	65.5

資料：財務省関税局

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance

(15) 生糸の原産国別輸入数量
Raw Silk Imports

(単位 : 60 k g 俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国名 Country	計 Total	中国 China	ブラジル Brazil	ベトナム Vietnam	タイ Thailand	その他 Others
年 月 Year & Month						
暦 年 Calendar Year						
2010	12,209 (65)	8,411 (40)	3,706 (25)	—	32	—
2011	9,323 (63)	7,170 (32)	2,136 (30)	—	5	—
2012	10,032 (49)	8,628 (36)	1,403 (13)	—	—	—
2013	9,332 (98)	8,047 (59)	1,275 (34)	10 (5)	—	—
2014	8,241 (90)	7,001 (75)	1,143 (15)	70	0	20
2015	6,479 (58)	5,569 (49)	887 (9)	20	2	—
2016	6,546 (52)	5,378 (44)	1,142 (8)	24	2	—
2017	7,560 (68)	6,008 (62)	1,456 (5)	91	2	1
2018	5,038 (51)	3,484 (46)	1,446 (5)	50	59	—
2019	4,852 (67)	3,620 (51)	1,228 (13)	—	3 (3)	—
2020	2,443 (30)	1,294 (25)	1,145 (5)	—	—	4
2019 - 1	382 (8)	299 (5)	80	—	3 (3)	—
2	358	236	122	—	—	—
3	870 (12)	686 (7)	183 (5)	—	—	—
4	1	1	—	—	—	—
5	595 (11)	449 (11)	146	—	—	—
6	301	177	124	—	—	—
7	392 (3)	328	64 (3)	—	—	—
8	427	270	156	—	—	—
9	390 (10)	319 (10)	71	—	—	—
10	386	316	71	—	—	—
11	446 (13)	321 (8)	125 (5)	—	—	—
12	304 (9)	217 (9)	86	—	—	—
2020 - 1	549 (1)	333	216 (1)	—	—	—
2	124	5	119	—	—	—
3	682 (11)	408 (7)	274 (4)	—	—	—
4	—	—	—	—	—	—
5	280 (10)	62 (10)	218	—	—	—
6	209	125	84	—	—	—
7	24 (3)	19 (3)	5	—	—	—
8	55	32	23	—	—	—
9	73	13	60	—	—	—
10	101 (5)	65 (5)	36	—	—	—
11	63	63	—	—	—	—
12	283	168	111	—	—	4
2021 - 1	123	57	66	—	—	—

資 料 : 財務省関税局

備考 : 1. kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

2. () 書きは、玉糸の輸入数量で内数である。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : 1. Country volume may not add up the total volume due to round off.

2. Figures in parenthesis indicate the break down for doupion silk imports.

(16) 絹糸の原産国別輸入数量
Silk Yarn Imports

(単位 : 60kg俵)
(Unit : Bales of 60kg)

国 名 Country	計 Total	中 国 China	ベトナム Vietnam	イタリア Italy	アメリカ USA	ブラジル Brazil	その他 Others
年 月 Year&Month							
暦 年 Calendar Year							
2010	16,306	9,675	4,161	16	—	1,716	205
2011	17,526	10,384	5,129	7	—	1,131	212
2012	16,179	9,924	4,908	15	—	1,109	223
2013	15,844	9,148	5,783	33	—	878	3
2014	14,820	8,190	5,733	8	—	867	22
2015	14,051	7,928	5,586	4	0	531	2
2016	12,094	7,289	4,074	16	0	711	4
2017	14,560	8,431	5,256	10	0	862	0
2018	11,092	6,217	4,031	10	0	802	32
2019	10,920	6,658	3,489	16	—	757	1
2020	6,226	3,516	2,124	3	0	582	1
2019 - 1	855	545	251	3	—	57	—
2	644	391	189	3	—	61	—
3	920	569	256	7	—	89	—
4	937	672	255	1	—	8	1
5	1,033	535	401	—	—	96	—
6	834	518	234	—	—	83	—
7	922	572	327	0	—	22	—
8	1,104	671	310	—	—	123	—
9	932	546	355	1	—	30	—
10	911	549	309	1	—	52	—
11	974	569	298	1	—	106	—
12	855	519	304	1	—	30	0
2020 - 1	1,178	715	348	1	—	114	—
2	303	20	240	0	—	43	—
3	962	536	329	1	—	96	—
4	662	345	226	0	—	91	—
5	854	544	256	—	—	53	—
6	422	271	115	—	0	35	—
7	283	187	96	0	—	—	—
8	249	141	95	—	—	14	—
9	308	141	105	—	—	60	1
10	215	89	90	1	—	35	—
11	305	206	99	—	—	—	—
12	487	322	124	—	—	40	—
2021 - 1	428	227	145	—	—	55	—

資料 : 財務省関税局

備考 : kgを60kg俵単位に換算してあるので、国別の計と合計が一致しない場合がある。

Source : The Customs Bureau, Ministry of Finance.

Remarks : Country volume may not add up the total volume due to round off.

(17) 生糸・絹糸の主要輸入国からの輸入数量と単価
Raw Silk and Silk Yarn Imports in Major Countries

単位：俵、円/K g
Unit:bale of 60kg, yen/kg

項 目 Item 年 月 Year & Month	輸入生糸（通関ベース） Raw Silk Imprt				輸入絹糸（通関ベース） Silk Yarn Import					
	中国 China		ブラジル Brazil		中国 China		ブラジル Brazil		ベトナム Vietnam	
	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price	俵 bales	単価 a unit price
暦 年 Calendar Year										
2010	8,411	3,667	3,706	3,773	9,675	3,730	1,706	4,161	4,606	3,411
2011	7,170	4,469	2,136	5,492	10,384	4,707	1,722	5,398	5,429	4,402
2012	8,628	4,293	1,404	5,290	9,924	4,383	1,110	6,078	4,908	4,493
2013	8,047	5,954	1,275	7,420	9,148	6,150	878	8,409	5,783	6,091
2014	6,925	6,449	1,127	8,362	8,190	6,609	867	9,480	5,743	6,794
2015	5,520	6,803	879	8,199	7,928	6,908	531	9,261	5,586	7,283
2016	5,334	5,614	1,134	6,164	7,289	5,764	711	6,654	4,074	5,946
2017	5,946	6,574	1,451	6,517	8,431	6,762	862	7,381	5,256	6,627
2018	3,438	7,973	1,441	7,857	6,217	8,090	802	8,551	4,031	7,754
2019	3,569	6,561	1,215	7,067	6,658	6,426	757	7,703	3,489	6,782
2020	1,269	6,243	1,140	6,587	3,516	6,415	582	7,441	2,124	6,627
2019 - 1	294	6,522	80	7,491	545	6,702	57	8,335	251	7,645
2	236	6,765	122	7,725	391	6,501	61	8,471	189	7,392
3	679	6,819	178	7,366	569	6,643	89	8,134	256	7,288
4	1	7,050	—	—	672	6,604	8	8,398	255	7,199
5	438	6,765	146	7,286	535	6,486	96	7,818	401	6,644
6	177	6,490	124	7,031	518	6,421	83	7,759	234	6,756
7	328	6,302	61	7,196	572	6,126	22	7,791	327	6,722
8	270	6,257	156	6,958	671	6,118	123	7,550	310	6,498
9	309	6,206	71	6,395	546	6,011	30	6,896	355	6,509
10	316	6,449	71	6,487	549	6,355	52	6,969	309	6,344
11	313	6,513	120	6,565	569	6,493	106	7,252	298	6,442
12	208	6,747	86	6,637	519	6,717	30	7,235	304	6,567
2020 - 1	333	6,793	215	6,713	715	6,907	114	7,455	348	6,629
2	5	6,244	119	6,668	20	6,862	43	7,270	240	6,778
3	401	6,477	270	6,585	536	6,870	96	7,552	329	6,802
4	—	—	—	—	345	6,792	91	7,619	226	6,818
5	52	6,859	218	6,553	544	6,488	53	7,540	256	6,679
6	125	6,010	84	6,787	271	6,564	35	7,416	115	6,660
7	16	6,259	5	6,523	187	6,338	—	—	96	6,772
8	32	5,402	23	6,800	141	5,729	14	7,614	95	6,625
9	13	6,090	60	6,864	141	5,687	60	7,604	105	6,781
10	60	5,280	36	6,752	89	5,250	35	7,242	90	6,057
11	63	5,390	—	—	206	5,836	—	—	99	6,584
12	168	5,414	111	5,930	322	5,244	40	6,677	124	5,587
2021 - 1	57	5,431	66	5,894	227	5,546	55	6,763	145	6,045

資料：財務省 通関統計による、単価はC I F価格である。

Source : The customs Bureau ,Ministry of Finance

Remarks : A unit price is CIF price.

(18) 絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics

(単位：1,000m²)

(Unit: 1,000sq. meters)

品 種 Type of Fabrics	総 数 Grand Total	絹・絹紡織物 Silk and Spun Silk Fabrics							
		広 巾 織 物 Double Width				小 巾 織 物 Single Width			その他の 後練(後染) Other Piece Dyed Silk Fabrics
		計 Total	羽二重類 Habutae	クレープ類 Crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	計 Total	ちりめん類 Silk crepe	先 練 (先染) Dyed Yarn	
年 月 Year & Month									
暦 年 Calendar Year									
2010	3,611	1,379	871	66	442	1,538	630	908	694
2011	3,152	1,438	786	62	591	1,003	562	441	711
2012	2,912	1,357	738	54	565	879	429	449	677
2013	2,940	1,428	813	46	569	809	397	412	703
2014	2,734	1,441	803	40	599	665	298	367	628
2015	2,316	1,228	664	35	529	630	283	347	458
2016	2,243	1,191	620	38	533	603	266	337	449
2017	2,195	1,185	639	50	497	587	272	315	422
2018	2,113	1,151	619	45	487	578	272	306	384
2019	1,939	1,128	583	43	502	521	242	279	290
2019 - 1	156	89	46	4	39	41	19	22	26
2	171	97	52	4	42	45	22	22	29
3	163	92	52	4	36	45	22	24	26
4	175	100	55	3	42	46	23	23	29
5	175	107	50	3	55	44	20	24	24
6	166	95	50	4	41	46	21	25	26
7	164	95	50	4	41	44	21	23	25
8	135	78	41	4	33	38	17	21	19
9	149	85	44	3	38	41	18	24	23
10	163	96	49	3	44	45	21	24	22
11	166	100	47	4	50	45	20	24	21
12	156	94	48	3	43	42	19	23	20
2020 - 1	132	75	42	2	31	37	16	21	19
2	136	75	43	2	29	40	19	21	21
3	145	81	48	2	31	43	19	24	22
4	136	78	44	2	31	40	20	20	18
5	102	64	37	1	26	24	12	13	13
6	99	64	33	2	29	25	11	14	11
7	103	69	33	0	35	25	11	14	9
8	89	59	32	0	27	21	9	12	9
9	102	64	35	0	28	27	14	14	12
10	106	66	36	1	29	27	12	15	13
11	111	74	38	1	34	28	12	15	9
12	116	74	37	1	35	29	12	17	13
2021 - 1	87	56	38	1	18	22	6	16	9

資料：(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計(2020.8～)

備考：絹紡と交織を含む。単位以下四捨五入。

Source: Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

Remarks: Spun and mixed fabrics included. Fractions of 0.5 and over counted as a whole number and the rest disregarded.

(19)丹後・長浜・西陣の絹織物生産数量

Production of Silk Fabrics in Tango , Nagahama and Nishijin

項 目 Item 年 月 Year & Month	絹織物生産数量 Silk Fabrics Production		丹 後 Tango (白生地) (White Fabrics)		長 浜 Nagahama (白生地) (White Fabrics)		西 陣 Nishijin (帯) (Sash)	
	数 量 Quantity (千㎡) (1,000㎡)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	生産数量 Production (反) (Roll)	前年(月)比 Ratio to previous year	推定出荷数量 Estimated Shipments (本)	前年(月)比 Ratio to previous year
暦 年 Calendar Year								
2010	3,611	36.3	515,721	102.5	84,023	110.0	859,244	115.1
2011	3,152	87.3	475,989	92.3	70,803	84.3	692,943	80.6
2012	2,912	92.4	451,503	94.9	62,910	88.9	645,679	92.9
2013	2,940	101.0	433,451	96.0	55,792	88.7	630,586	97.7
2014	2,734	93.0	400,192	92.3	53,174	95.3	600,917	95.3
2015	2,316	84.7	351,309	87.8	41,893	78.8	526,417	87.6
2016	2,243	96.8	310,271	88.3	38,063	90.9	488,144	92.7
2017	2,195	97.9	294,451	94.9	36,227	95.2	477,594	97.8
2018	2,113	96.3	282,158	95.8	36,316	100.2	426,796	89.4
2019	1,939	91.8	253,429	89.8	27,584	76.0	380,224	89.1
2020			154,333	60.9	10,852	39.3	260,360	68.5
2019 - 1	156	92.9	15,850	91.5	2,510	83.5	31,925	91.0
2	171	97.7	24,978	99.7	2,783	95.6	32,095	89.1
3	163	92.6	21,859	93.5	2,728	82.9	34,578	85.6
4	175	92.1	23,299	90.2	2,616	80.7	33,794	80.9
5	175	93.1	14,796	70.7	2,526	75.5	33,197	87.7
6	166	85.6	25,926	94.9	2,523	89.5	34,972	99.6
7	164	96.5	21,364	84.7	2,364	70.0	28,371	87.6
8	135	86.0	16,997	87.1	1,808	69.0	28,344	95.1
9	149	95.5	24,336	95.6	2,194	81.0	34,001	114.8
10	163	89.6	19,204	83.8	2,007	64.0	28,356	72.5
11	166	91.7	22,989	91.3	1,849	60.7	30,119	92.2
12	156	88.1	21,831	90.9	1,676	59.6	30,678	83.0
2020 - 1	132	84.6	15,165	95.7	1,259	50.2	24,411	76.5
2	136	79.5	21,802	87.3	1,707	61.3	26,233	81.7
3	145	89.0	17,996	82.3	1,792	65.7	28,783	83.2
4	136	77.7	18,393	78.9	1,172	44.8	20,179	59.7
5	102	58.3	12,661	85.6	669	26.5	11,341	34.2
6	99	59.6	9,326	36.0	690	27.3	21,317	61.0
7	103	62.8	8,532	39.9	361	15.3	18,561	65.4
8	89	65.9	7,147	42.0	613	33.9	16,344	57.7
9	102	68.5	10,011	41.1	451	20.6	20,505	60.3
10	106	65.0	10,443	54.4	645	32.1	24,142	85.1
11	111	66.9	11,523	50.1	874	47.3	24,658	82.2
12	116	74.4	11,334	51.9	619	36.9	24,280	79.1
2021 - 1	87	65.9	9,930	65.5	773	61.4	19,619	80.4
2			11,810	54.2	910	53.3		

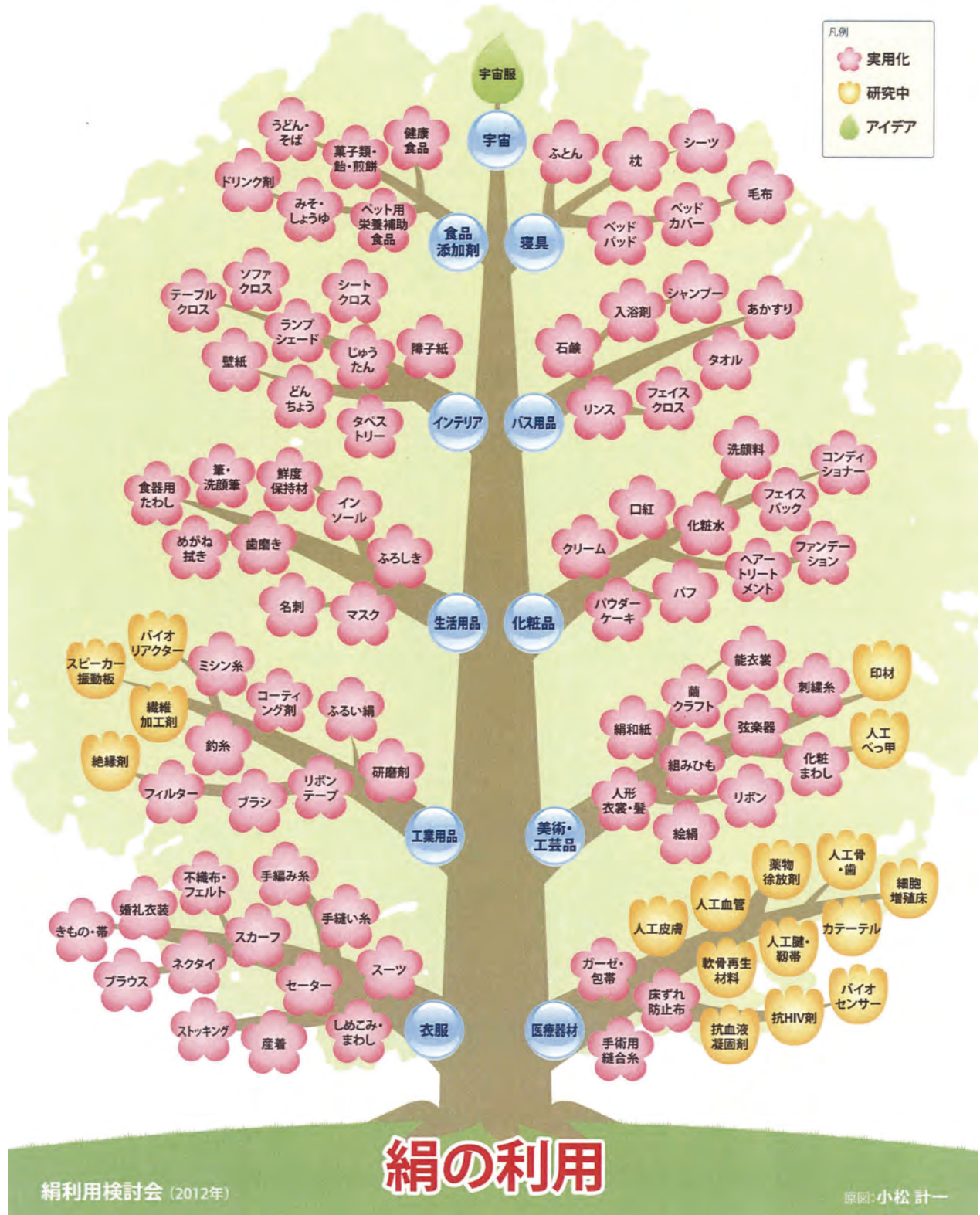
資料 : 絹織物生産数量は(一社)日本絹人織織物工業会(～2020.6) 経済産業省生産動態統計 (2020.8～)

主要3産地の生産量、出荷数量は各産地組合の発表による。

Source : Japan Silk & Rayon Weaver's Association(～2020.6). Ministry of Economy, Trade, and Industry, Current Production Statistics(2020.8～)

The numbers of Production and Shipments of 3major producing areas are reported by their local unions.

絹利用の系統樹



絹利用検討会 (2012年)

原図: 小松 計一

－資料・海外－

(1)世界主要国の家蚕繭生産数量

Domesticated Silkworm Cocoon Production in Major Countries

区 分		2015年	2016年	2017年
日本	Japan	トン 135	トン 130	トン 125
中国	China	628,000		
インド	India	151,787	155,688	161,684
ウズベキスタン	Uzbekistan	27,237		
イラン	Iran	12,538		
タイ	Thailand	4,881		
ブラジル	Brazil	2,870	2,913	2,995
ベトナム	Vietnam	2,515		
北朝鮮	North Korea	937		
トルコ	Turkey	75		
ブルガリア	Bulgaria	65		
インドネシア	Indonesia	57		
シリア	Syria	3.0		
主要国の計	Total	831,100	158,731	164,804

区 分		2018年	2019年	2020年
日本	Japan	トン 110	トン 92	トン 80
中国	China			
インド	India	185,560	185,143	
ウズベキスタン	Uzbekistan			
イラン	Iran			
タイ	Thailand			
ブラジル	Brazil	3,024	3,034	
ベトナム	Vietnam			
北朝鮮	North Korea			
トルコ	Turkey			
ブルガリア	Bulgaria			
インドネシア	Indonesia			
シリア	Syria			
主要国の計	Total	188,694	188,269	80

注 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASEDA)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会 (ISC)及びFAOの統計値を使用し、2016年以降はデータが取れない。

Note Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB),Ministry ofTextiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association(ABRASEDA).

Others than these countries,based on the data of International Sericulture , however, there is no data available since 2016 Commission (ISC).

(2)世界主要国の家蚕生糸生産数量

Domesticated Raw Silk Production in Major Countries

区 分		2015年		2016年		2017年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	23	379	19	317	20	337
中国	China	122,000	2,033,333				
インド	India	20,478	341,300	21,273	354,550	22,066	367,767
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,200	20,000	1,256	20,933	1,200	20,000
タイ	Thailand	698	11,633	712	11,867	680	11,333
ブラジル	Brazil	406	6,767	629	10,483	535	8,917
ベトナム	Vietnam	450	7,500	523	8,717	520	8,667
イラン	Iran	120	2,000	125	2,083	120	2,000
北朝鮮	North Korea	350	5,833	365	6,083	365	6,083
トルコ	Turkey	30	500	32	533	30	500
インドネシア	Indonesia	8	133	4	67	2.5	42
ブルガリア	Bulgaria	8	133	9	150	10	167
シリア	Syria	0.3	5	0.3	4	0.3	4
主要国の計	Total	145,771	2,429,517	24,947	415,788	25,549	425,817

区 分		2018年		2019年		2020年	
		トン	俵	トン	俵	トン	俵
日本	Japan	21	342	16	268	12	204
中国	China						
インド	India	25,344	422,400	25,239	420,650		
ウズベキスタン	Uzbekistan	1,800	30,000	2,037	33,950		
タイ	Thailand	680	11,333	700	11,667		
ブラジル	Brazil	489	8,150	469	7,817		
ベトナム	Vietnam	680	11,333	795	13,250		
イラン	Iran	110	1,833	227	3,783		
北朝鮮	North Korea	350	5,833	370	6,167		
トルコ	Turkey	30	500	5	83		
インドネシア	Indonesia	2.5	42	2.5	42		
ブルガリア	Bulgaria	10	167	10	167		
シリア	Syria	0.3	4	0.5	8		
主要国の計	Total	29,516	491,938	29,871	497,851	12	204

注1 日本は(一財)大日本蚕糸会、中国は中国絲綢(シルク)協会、インドはインド繊維省中央蚕糸局(CSB)、ブラジルはブラジル製糸協会 (ABRASSED)の統計値をそれぞれ使用、それ以外の国は国際養蚕委員会(ISC)及びFAOの統計値を使用した。中国は2016年以降データが取れない。

Note:1 Figures of Japan are based on the data of the Dainippon Silk Foundation.

Figures of China are based on the data of the China Silk Association.

Figures of India are based on the data of the Central Silk Board (CSB), Ministry of Textiles in India.

Figures of Brazil are based on the data of the Brazil Filature Association (ABRASSED).

Others than these countries, based on the data of International Sericulture Commission (ISC).

The data of China has not been available since 2016.

(3) 中国繭絲綢交易市場における各種シルク現物価格 Spot Price of Various Silk Goods

2020年11月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	93.00 ~ 103.00	1,488 ~ 1,648
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	109.00 ~ 130.00	1,744 ~ 2,080
3	玉繭(double cocoon)		93.00 ~ 107.00	1,488 ~ 1,712
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	79.25 ~ 94.00	1,268 ~ 1,504
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	304.75 ~ 327.50	4,876 ~ 5,240
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	303.25 ~ 324.50	4,852 ~ 5,192
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	301.25 ~ 335.00	4,820 ~ 5,360
8	玉糸(doupion silk)	110d	300.00 ~ 310.00	4,800 ~ 4,960
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	31.00 ~ 38.00	496 ~ 608
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	47.00 ~ 53.00	752 ~ 848
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	39.75 ~ 42.75	636 ~ 684
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	33.75 ~ 39.25	540 ~ 628

注:1元=16円

1 CNY=16JPY

2020年12月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	98.20 ~ 107.80	1,571 ~ 1,725
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	113.20 ~ 134.20	1,811 ~ 2,147
3	玉繭(double cocoon)		95.00 ~ 108.40	1,520 ~ 1,734
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	82.20 ~ 95.60	1,315 ~ 1,530
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	313.30 ~ 334.40	5,013 ~ 5,350
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	314.40 ~ 332.80	5,030 ~ 5,325
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	309.20 ~ 336.40	4,947 ~ 5,382
8	玉糸(doupion silk)	110d	304.00 ~ 323.00	4,864 ~ 5,168
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	32.78 ~ 38.30	524 ~ 613
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	48.50 ~ 53.92	776 ~ 863
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	39.56 ~ 43.72	633 ~ 700
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	33.80 ~ 38.06	541 ~ 609

注:1元=16円

1 CNY=16JPY

資 料:中国繭絲綢交易市場(浙江省、嘉興)発表

※区分9は2020年12月より規格が45吋(inch)8匁(mom)→56吋(inch)8匁(mom)となった。

Source:China Silk Exchange(Zhejiang Sheng Jia Xing)

※ As for the item 9, the standard has changed since Dec. 2020, from 45 inch(吋) 8 mom(匁) to 56 inch(吋) 8 mom(匁)

2021年1月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	108.50 ~ 115.50	1,736 ~ 1,848
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	118.25 ~ 138.75	1,892 ~ 2,220
3	玉繭(double cocoon)		98.75 ~ 110.75	1,580 ~ 1,772
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	88.00 ~ 100.75	1,408 ~ 1,612
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	330.75 ~ 346.25	5,292 ~ 5,540
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	335.25 ~ 350.50	5,364 ~ 5,608
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	334.25 ~ 352.25	5,348 ~ 5,636
8	玉糸(doupion silk)	110d	321.75 ~ 342.75	5,148 ~ 5,484
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	36.59 ~ 41.13	585 ~ 658
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	52.63 ~ 57.63	842 ~ 922
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	43.23 ~ 49.83	692 ~ 797
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	37.63 ~ 41.23	602 ~ 660

注:1元=16円

1 CNY=16JPY

2021年2月 平均 (month average)

区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/kg) (price range)	価格幅(円/kg) (price range)
1	乾繭(dried cocoon)	3A-4A	112.00 ~ 118.50	1,792 ~ 1,896
2	乾繭(dried cocoon)	5A-6A	121.25 ~ 140.75	1,940 ~ 2,252
3	玉繭(double cocoon)		101.25 ~ 113.25	1,620 ~ 1,812
4	キビソ(frison)	(自動機)automatic reel	90.00 ~ 102.00	1,440 ~ 1,632
5	生糸(raw silk)	21d、工場検査	342.50 ~ 361.25	5,480 ~ 5,780
6	生糸(raw silk)	21d、検驗局検査	346.75 ~ 366.25	5,548 ~ 5,860
7	生糸(raw silk)	42d、工場検査	349.00 ~ 367.25	5,584 ~ 5,876
8	玉糸(doupion silk)	110d	340.00 ~ 355.00	5,440 ~ 5,680
区分 (item)	商品名称 (goods name)	規格 (size)	価格幅(元/メートル) (price range)	価格幅(円/メートル) (price range)
9	羽二重(habutae)	56吋(inch)8匁(mom)	40.21 ~ 44.50	643 ~ 712
10	サテン(satin)	45吋(inch)16匁(mom)	56.25 ~ 61.00	900 ~ 976
11	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)13.5匁(mom)	46.85 ~ 53.20	750 ~ 851
12	クレープデシン(crepe de chine)	45吋(inch)12匁(mom)	40.88 ~ 44.13	654 ~ 706

注:1元=16円

1 CNY=16JPY

※「シルクレポート」の記事と統計データは、下記のホームページでもご覧になれます。

<http://www.silk-teikei.jp>

シルクレポート 2021 年 4 月号 No.69 令和 3 年 4 月 1 日発行

編集 / 発行

一般財団法人大日本蚕糸会

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 1-9-4 蚕糸会館 6 階

TEL : 03-3214-3500

FAX : 03-3214-3511

URL:<http://www.silk-teikei.jp>

製本 / 印刷

株式会社正大印刷社

無断転載禁ず